

研究紀要

へルメス

(商 神)

第32号



2024 (令和6年3月)

指宿市立指宿商業高等学校

ヘルメスの発刊によせて

校長 清川 康雄

本校研究紀要「ヘルメス」第 32 号の発刊となりました。指宿市立指宿商業高等学校(指商)の足跡を記録してきました本紀要は、校内においても重要な史実誌であり、生徒たちの取り組みや当時の教育活動の記録、そしてそれらを側面から支えてきた教職員の指導方法など振り返る大変貴重なものになっております。

本校は「実学・実習によるビジネス教育の取組日本一」をスローガンに日々の教育活動に先生方、生徒、保護者そして地域と一体となり、取り組んでいます。

令和5年度は、令和2年度にはコロナ禍で中止となった「指商デパート」を4年ぶりに通常開催できました。他の多くの行事も全校生徒や教職員の力を結集して推進してまいりました。保護者の皆さま、PTA【指翔会】役員、PTAOB組織【そらまめん隊】の皆さま、同窓会【ヘルメス会】地域の皆さま、市教育委員会や市行政当局など関係機関のお力添えがあったからと感謝しております。

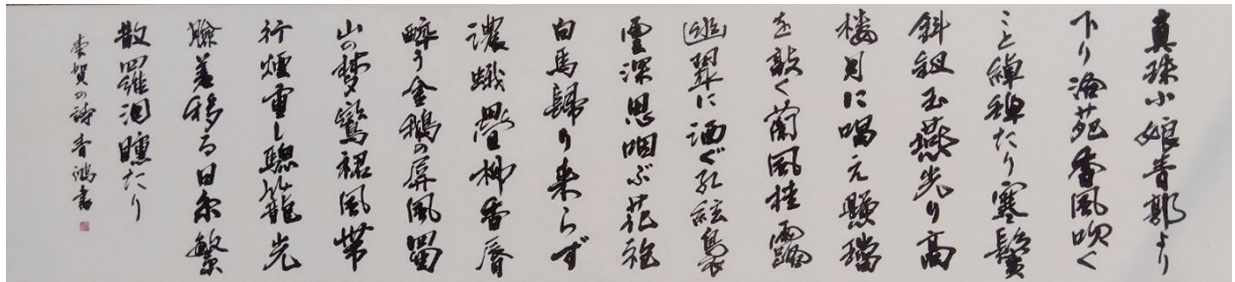
さて令和4年度～5年度にかけて次の3つの大きな賞を頂きました。いずれも、伝統的に継承されている指商の教育活動の成果が認められたものと思うところです。

令和4年度は、「文部科学大臣優秀教職員組織表彰(教職員一同)」で表彰されました。これは、平成2年度から学校デパートを開始し、平成 24 年度には全国の高校で初めて生徒が出資した株式会社を設立し、他校のモデルとなる商業教育の実践的取組を推進。地元企業と連携した商品開発・サービスを通して学校をあげて地域活性化に尽力した功績が認められてのことです。

令和5年度は、「優良PTA文部科学大臣表彰」です。PTAにおいてはこの他にも「県PTA連合会表彰」、「九州地区高等学校PTA連合会長表彰」、「全国高等学校PTA連合会会長表彰」と4つ表彰を受けました。県内でも初のことです。生徒とともに楽しいPTA」をモットーに、PTAが積極的に学校行事に協力し活動して、生徒のキャリア教育形成に多大な成果を上げていることがわかります。

また、平成 24 年から導入した韓国語の取組が評価され、鹿児島県教育委員会より「いきいき教育活動表彰」として生徒2名が表彰を受けました。これは、平成 26 年6月に発生した指宿枕崎線観光列車「指宿のたまて箱」の脱線事故時の本校生のボランティア活動に対しての受賞以来、3度目の受賞になります。

最後に研究紀要「ヘルメス(商神)」は、1987 年(昭和 62 年)に創刊され、令和元年度から隔年発行となり、今回で 32 号になります。本紀要が、教育関係者に対して多くの情報や示唆を与え、意見交換を触発して教育研究と実践に寄与することを念願し、多くの方のご高覧を仰ぎ、ご指導とご助言を賜りますようお願い申し上げます。発刊のご挨拶といたします。



タイトル「 李賀の詩 」



タイトル「 Scribble 」

目 次

ヘルメスの発刊に寄せて	校 長	清 川 康 雄
作品掲載 「李賀の詩」	芸 術 科	池 田 順 子
作品掲載 「Scribble」	芸 術 科	大 川 龍 一
1 指商トピックス		
令和4年度・令和5年度	教 頭	西 雄 高
商業科報告	商業科主任	松 山 成 洋
2 商業教育の充実		
株式会社指商報告	商 業 科	福 永 博 志
第33回指商デパート	商 業 科	富 田 潤
令和5年度生徒商業研究発表大会報告		
	商 業 科	向 井 良 人 春 松 健一郎
3 進路状況		
令和5年度進路状況について	進路指導部	朝 倉 真 吾
4 研究授業		
「家庭総合」学習指導案	家 庭 科	穴 野 智 美
「ビジネス基礎」学習指導案	商 業 科	春 松 健一郎
「マーケティング」学習指導案	商 業 科	圖 師 さつき
特別活動（LHR）学習指導案	商 業 科	圖 師 さつき
5 その他		
会計マネジメント科の取り組み	会マネ担任	岩 川 奈 稔子
PTAの取り組み	P T A 係	福 永 博 志

1 指商トピックス

令和4年度・令和5年度を振り返って ～指商の歩み～

教頭 西 雄高

本校は、本年度で創立76周年を迎える市立の単独商業高校である。令和3年度入学生までは商業科のみ5学級で生徒を募集していたが、令和4年度入学生から、商業マネジメント科（3学級）、会計マネジメント科（1学級）、情報マネジメント科（1学級）の3学科5学級で構成されている。また、令和6年3月末に、商業科最後の卒業生とともに、67年続いた歴史ある商業科が閉科を迎える。

（1） 3学科の特色を活かした教育課程

教育課程は3学科とも普通教科は同じであるが、専門科目はそれぞれの学科の特色を活かした教育課程となっている。加えて、それ以上にそれぞれの学科毎に、特色ある行事がある。例えば、商業マネジメント科では、1年次に「指宿めぐりツアー」という指宿市内の観光地を巡る校外研修【図1】を行い、それも活用して7月に「いぶすき検定」を受験する。この受験は、包括連携協定を結んだ指宿市観光協会や指宿商工会議所から大きなサポートを受けて行っている。また、12月には、白水館等でテーブルマナー講座を行う等、学科の特徴である校外学習を多く取り入れている。次に、会計マネジメント科は、資格が一番多く取得できるように授業進度も速く、また金融関係や大学等から講師をお招きし、特別講座を行っている。国公立大学等への進学を希望する生徒も多いので、大学等への校外研修【図2】も行っていく。最後に、情報マネジメント科は、専門学校との連携【図3】を図ることで、通常の授業だけで学ぶことができないより高度な情報技術を学ぶことができる。これらの3学科それぞれの特色ある行事も「コンソーシアムIBUSHO」により実現しているところも大きい。



【図1】 商マネ校外研修



【図2】 会マネ校外研修



【図3】 情マネ校外研修

3学科毎の特色ある教育活動がある一方、「株式会社指商【図4】」、「指商デパート【図5】」、「ICP(指宿茶いっぺプロジェクト)【図6】」等、3学科に共通する学びもあり、それが指宿商業学校としての一体感を作っている。まだ、新設3学科から卒業生が出ていないので、この3学科の特色が進路にどのような差として出てくるかは未定であるが、進路指導については学科によらず、これまでと同様に、生徒自身の進路希望を踏まえ、公務

員志望に対してはオンライン公務員講座や国公立を含めた四年制大学志望者への個別指導等，それぞれの進路に対応したものになる。



【図4】株主総会



【図5】指商デパート



【図6】ICP

本校の学科再編に伴う教育課程について，まとめると次のようになる。

ア 商業科の小学科としての3学科の差異がなかなか浸透しにくいので，学べる科目の差だけでなく，それぞれの学科の取組に特徴を持たせた。

イ 新設学科については，1期生の育て方，その中でも特に，1年生の時が一番重要である。

ウ 各学科の特色ある教育活動がある一方，「株式会社指商」，「指商デパート」，「ICP(指宿茶いっぺプロジェクト)」等，3学科に共通する学びもあることにより，全校生徒が「指商らしさ」を味わう機会を得る。

令和6年度で3学科完成年度を迎える。これからも3学科の特色を生かした教育活動を更に進めていく予定である。

(2) 特色ある教育活動のPRへの取組

令和4年度入学生から学科を改編し，地域密着型の校外学習（体験学習）が多い「商業マネジメント科」，上級資格取得など多くの資格を目指し，幅広い進路（進学）に対応している「会計マネジメント科」，情報処理・情報技術・プログラミングなど最新の学びを体験できる「情報マネジメント科」の3学科を新設した。そして，3学科の専門性を深化させ，他校との差別化を図れるカリキュラムマネジメントを進めた。

中学生に対し新設3学科の活動内容や魅力をわかりやすく説明するために，「指商オープンスクール」と称し学校説明会及び部活動見学を本校で実施した。事前申込は不要で，生徒だけでも保護者だけでも参加を可能として実施した。令和5年度の参加者は令和4年度に比べ，保護者を含め150名を増加した。9月に行った指商オープンスクールでは，参加者が120名となり会議室を中学生と保護者が埋め尽くす程度の大盛況となった。実施回数については，令和4年度は7回であったが，令和5年度は令和5年3月に中学2年生を

対象に説明会をスタートし，全体で8回本校で実施した。また，鹿児島市内の中学校を対象に，鹿児島市内の公民館でも学校



【図7】指商オープンスクール①



【図8】指商オープンスクール②

説明会を実施した。説明内容は、本校の特色ある教育活動と本校での必要経費等についてで、加えて「指商オープンスクール」では、説明会后、施設見学及び部活動見学を行った。

この他にも、中学校が行う高校説明会以外に、中学校を訪問し昼食時間や放課後に本校を希望する生徒への個別の説明会を行ったり、塾への説明を行ったりして本校の魅力を伝え続けた。

(3) 積極的なボランティアへの参加

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント自体が中止になったり規模を縮小あるいは限定開催したりしたため、ボランティアの依頼も少なかった。令和5年度になり、鹿児島県では7月29日～8月4日にかけて第47回全国高等学校総合文化祭「2023かごしま総文」が実施され、指宿市でも将棋部門と囲碁部門の大会が行われた。本校からも将棋部門の女子団体の選手として参加する一方、多くの生徒が指宿市内で行われた大会のスタッフとしてボランティアで参加した。また、10月を中心に「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」も行われ、ビーチバレーボール少年女子で本校からも大会へ選手として参加した。この大会にも競技の補助スタッフとして多くの生徒がボランティアとして参加した。この2大会以外にも指宿市内で行われるイベントを中心に、ボランティアの依頼があり、多くの生徒が積極的に参加し地域へ貢献している。



【図9】ボランティア説明会

(4) 活躍する部活動

令和4年度部活動は、新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、令和5年度の5月以降新型コロナウイルスが五類相当の取扱になったことで、感染対策はしつつも、コロナ以前の状態に大会の実施状況もなった。令和4年度、令和5年度（1月現在）の主な大会結果は以下のようになる。

<令和4年度>

- (1) 女子ソフトテニス部 県高校春季ソフトテニス選手権
団体1位、団体チャレンジ2位、個人ダブルス1位、個人シングル1位、2位、3位2人
- (2) 春季南薩地区地区大会
 - ① 女子ソフトテニス部 団体1位、個人ダブルス1位
 - ② バドミントン部 女子団体1位、女子ダブルス1位、女子シングル1位
 - ③ 女子バレーボール部 1位
 - ④ 男子バレーボール部 1位
 - ⑤ 陸上競技部 男子1500m1位、男子400m1位
- (3) 女子ソフトボール部 県高校春季ソフトボール大会 3位
- (4) 女子ソフトテニス部
 - ① 県高等学校総合体育大会 団体1位、ダブルス1位、3位2チーム
 - ② 鹿児島市長杯県ソフトテニス選手権 ダブルス1位、2位、3位
- (5) ワープロ部 県高等学校ワープロ競技大会 技能の部 団体2位、個人3位、5位

- (6) 女子ソフトボール部 県高等学校総合体育大会 3位
- (7) 女子バレーボール部(ビーチバレー) 県ビーチバレージュニア男女選手権 2位, 3位
- (8) 女子ソフトテニス部 ハイスクールジャパンカップソフトテニス
女子シングルス2位
- (9) ワープロ部 九州地区高等学校ワープロ競技大会 技能の部 個人3位
- (10) みたま祭り書道展 菊花賞, 若竹賞
- (11) 南薩地区高校揮毫大会 高文連賞
- (12) 県高等学校書道展 秀作賞3人
- (13) 県高等学校揮毫大会 優秀賞2人
- (14) 女子バレーボール部 かがしま国体ジュニアスリート認定2人
- (15) 秋季南薩地区体育大会
 - ① 男子バレーボール部 優勝 ② 女子バレーボール部 優勝
 - ③ 女子ソフトテニス部 女子団体1位, 女子個人1位
 - ④ バドミントン部 女子ダブルス1位, 女子団体優勝, 男子団体優勝
- (16) 演劇部 鹿児島県高等学校演劇祭南薩地区大会 最優秀賞
- (17) 全日本中国語スピーチコンテスト鹿児島大会 スピーチ部門 高校生の部
中華人民共和国駐福岡総領事賞
- (18) 県高校新人大会
 - ① ソフトテニス競技大会 女子団体3位
 - ② ソフトボール競技大会 女子3位
- (19) 演劇部 第75回鹿児島県高校演劇祭 優秀賞1席(2位)(九州大会出場)
- (20) 女子ソフトテニス部 第17回ジュニアジャパンカップ U-20ダブルス 優勝
- (21) 税に関する高校生の作文 優秀賞2人
- (22) 書道部
 - ① 読売学生書展 鹿児島県知事賞, 読売新聞社賞
 - ② ひな祭り書道展 南九州新聞社賞
- (23) 鹿児島県春季ソフトテニス競技大会 団体3位
- (24) 鹿児島県団体選抜インドアソフトテニス大会 団体3位

<令和5年度>

- (1) 女子ソフトボール部 県高校春季ソフトボール大会 第3位
- (2) 春季南薩地区地区大会
 - ① バドミントン部 女子団体優勝, 女子ダブルス1位, 男子シングルス1位
 - ② 男子バレーボール部 優勝
 - ③ 女子バレーボール部 優勝
 - ④ 陸上競技部 男子3000m 1位
 - ⑤ 女子ソフトテニス部 女子団体優勝, 女子個人1位
- (3) 女子ソフトテニス部 県高校春季ソフトテニス選手権 女子団体3位
- (4) 県高校総合体育大会
 - ① 女子ソフトテニス部 団体2位
 - ② 女子ソフトボール部 団体3位

- (5) 女子バレーボール部 九州ジュニアビーチバレーボール大会 第2位, 第3位
- (6) 陸上競技部 第78回県陸上競技選手権大会 男子3000mジュニアB 3位
- (7) 書道部 地区揮毫大会 高文連賞
- (8) 秋季南薩地区体育大会
 - ① 女子バレーボール部 優勝
 - ② 女子ソフトテニス部 女子団体優勝, 個人優勝
 - ③ 弓道部 男子団体優勝
- (9) 県新人体育大会
 - ① 陸上競技部 男子800m 2位, 男子5000m 3位
 - ② 女子ソフトテニス部 女子団体 2位, 女子個人 3位
 - ③ 女子ソフトボール部 団体 3位
- (10) 演劇部 南薩地区大会 最優秀賞
- (11) 韓国語 第10回 韓国語スピーチ大会 教育委員長特別賞 (県2位相当)
- (12) 書道部
 - ① 第60回記念南日本硬筆展県高校教育研究会 国語部会賞 1人
 - ② 宮地嶽第56回光の道全国競書大会 福岡放送賞
 - ③ 第64回全国書道展 (主催: 大東文化大学) 書道研究所所長賞
- (13) 中国語
 - ① 第41回 全日本中国語スピーチコンテスト鹿児島大会 中華人民共和国駐福岡総領事賞
 - ② チャイフエスティバルin九州 スピーチコンテスト 中国語の部 福岡県日中友好協会会長賞
- (14) 演劇部 第76回鹿児島県高等学校演劇祭 優秀賞

令和5年度第71回全国商業教育研究大会

第4分科会 発表資料

変わるこの世に変わらぬ伝統

I B U S H Oから輝く笑顔と感謝をおもてなしにかえて

～コロナ禍での株式会社の運営やおもてなし活動等の取り組みの変化～

期 日 令和5年8月1日（火）

場 所 A P 浜松町



指宿市立指宿商業高等学校

教 諭 松 山 成 洋



【学校ホームページ】



【YouTube「鹿児島ループ」】

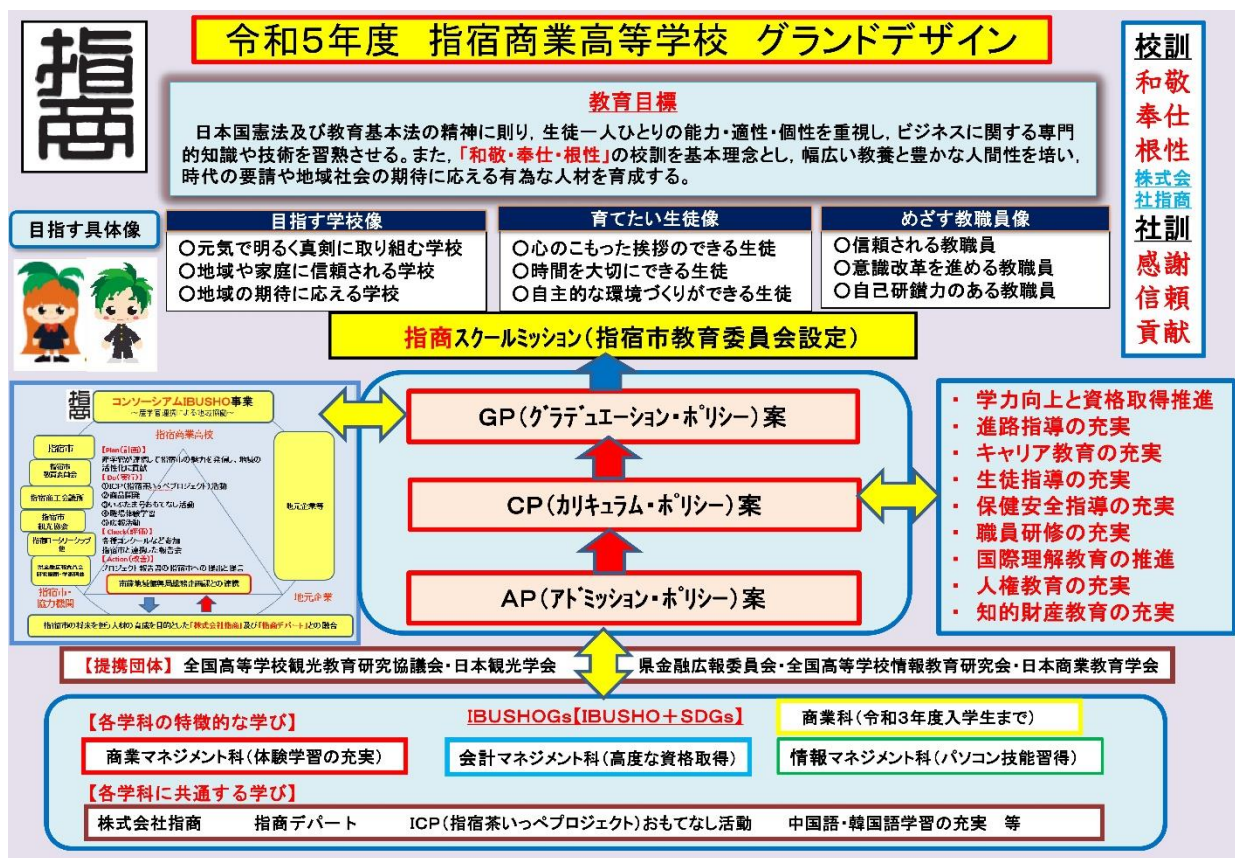


【ICPのInstagram】

I はじめに

1 学校概要

本校は、昭和23年に鹿児島県今和泉村（現在の指宿〈いぶすき〉市：人口約4万人の観光都市）に鹿児島県今和泉高等学校として創立し、その後、改称・移転等を行い現在に至り、本年度で76周年を迎える。2008年のNHK大河ドラマで放送されました「篤姫」が、幼少の頃に過ごしたといわれる「今和泉」にあり、教室の窓からは雄大な桜島を眺めることもできる。令和3年度入学生までは商業科のみ5クラスだったが、令和4年度入学生から、商業マネジメント科（3クラス）、会計マネジメント科（1クラス）、情報マネジメント科（1クラス）の3学科5クラスで構成され、指宿市立の高校ではあるが、鹿児島市内からの通学生も50%を超えており、県南部地域から広く生徒が集まっている。校訓の「和敬」「奉仕」「根性」のもと、資格取得だけではなく、部活動でも全国優勝の実績がある女子ソフトテニス部をはじめ、運動系、文化系共に全国大会や九州大会出場の部も複数あり、それぞれの目標に向かい頑張っている。地域からは「指商（いぶしょう）」と呼ばれ定着している。



【グランドデザイン】

2 コンソーシアムIBUSHOの構築

コンソーシアムに賛同する事業会社、及び行政を含む協力機関等と協働事業を「コンソーシアムIBUSHO」として令和3年度から推進している。この活動を通じて、「地域の人材育成（特に観光分野）」に貢献することでまちづくりの活性化を図ることを目標としている。その中で、令和4年5月に指宿市観光協会との間で「いぶすき観光包括協定」を締結し、特に商業マネジメント科において、観光に特化した教育を行う学科として、1年時はいぶすき検定の全生徒の受験や校外研修（観光）等を計画し、2年時には宿泊型インターンシップを、指宿温泉旅館事業協同組合加盟のホテル・旅館において実施する計画となっており、今後、更なる業界との連携を検討している。

令和3年度には、指宿の観光PR動画の製作を鹿児島大学と協働して行い、その取り組みを発表

した全国観高（かんこう）サミットでは第3位の成績を収めた。同年6月に鹿児島県産業教育振興会総会で、事業会社及び学校関係者にその取組を紹介した。他にも、ファミリーマートと共同での商品開発（平成21年度より）、鹿児島大学農学部及び同大学指宿植物試験場との連携（6次産業化学習）、日本航空「スカイスクール」事業参加等に取り組んでいる。

指宿市立指宿商業高等学校 夢をカタチにする商業教育の推進 IBUSHO's SDGs

コンソーシアムIBUSHO -地域協働で地域の将来を担う人材を育成-

持続可能な好循環を生み出す高校を核とした地域創生

地域の課題

- 観光都市・指宿の産業振興や雇用確保の推進
- 少子・高齢化が進展、将来の人口減による活力喪失
- 活力創出に向けた就業人口定着を促進

育成する地域人材像

- 高度な知識と専門性を身に付けた人材
- 地域の一員として積極的に関わる人材
- 地域への課題及び貢献意識を持つ人材
- 地域社会を支える社会関係資本を構築できる人材

課題研究・販売実習・インターンシップの深化・融合化

まちづくりを「実学によるビジネス教育・キャリア教育」で推進

商業科 **商業マネジメント科**

指宿デパート **いぶたま・おもてなし**

会計マネジメント科 **情報マネジメント科**

地域連携・学校連携 **商品開発** **企業連携・商品開発**

学 科	1年	2年	3年	計
商業科			151	151
商業マネジメント科	110	102		212
会計マネジメント科	10	16		26
情報マネジメント科	38	38		76

地域協働人材育成カリキュラム

	1年次	2年次	3年次	卒業後
	地域を知る→地域から学ぶ→地域に提言→地域を支える人材へ 「キャリアパスポート」の活用により、自己理解を深め視野を広げる			

【コンソーシアムIBUSHO】

Ⅱ 『株式会社 指商』の運営

全国の高等学校で初となる、株式会社を平成24年度に設立して本年度で12期目に入る。社訓は、「感謝・信頼・貢献」。全校生徒が株主及び社員となり、ビジネス教育の実践の場として運営している。オリジナル商品の開発や、各種イベントでの販売業務、納税など、様々な事業を行っている。事業活動を通して得た利益は、指宿市内の小・中学校へ図書を贈呈するなど、地域貢献（CSR活動）に役立てている。



株式会社指商
Business Corporation IBUSHO
【社章】

1 高校生株式会社の設立の経緯

高校生株式会社の設立の経緯については、設立当時の実教出版の当時の本校担当者の投稿記事をまず紹介したい。

ビジネス教育は「学校デパート」から展開し、商品開発そして生徒のアイデアを権利化してきた。株式会社を設立したのは、この取り組みがあったからである。そして生徒商研での生徒の「組織を作ってみては」という発想も要因の1つである。

生徒は将来「地域社会や企業でリーダーとして活躍する人材となる」を合い言葉に活動を行った。そのためには地域を愛し、よく知り、貢献する活動を継続的に実践する必要がある。指商生は、地域・企業・学校が三位一体となり地域活性化へとつなげる橋渡し役を担う。設立準備には、平成24年3月に卒業した3年生全員が授業「経済活動と法」「課題研究」で株式会社の基礎学習から定款作成まで学習してきた。

学習の一貫として、書類作成等は司法書士や行政書士の力を借りずに準備してきた。授業で株式会社設立を学習する機会はあるが、実際設立したことはなかったため、テキストを購入し生徒とともに事業計画や組織図そして定款なども考えてきた。案ができた段階で法務局の無料相談を受け、出資者(株主)の管理そして法律を教えていただいた。

公証人合同役場では記載事項で何度も修正作業を行ってきた。定款認証後は法務局で登記完了となったが、準備期間に問題点も発生し、話し合いを繰り返してきた。苦労はしたが、この準備期間を経験できたことで、起業する人材育成へとつながればと願う。

平成24年4月2日法務局で受理され会社が誕生した。社名は「株式会社指商」、全国初高校生を株主として、設立登記をした。株式譲渡制限会社そして取締役会を設置する組織にした。出資者(株主)は全校生徒である。

目的は①先進的ビジネス教育を実践することにより、学校の特色化、差別化を図る。②地域社会や企業等とビジネス活動を実践することにより、ビジネス活動の厳しさややり甲斐を体験させ、将来の起業家育成に資する。③企業の設立、経営について、実際の企業活動を学ばせることにより、商業に関する専門教科をより深める。④今後のビジネス教育の在り方を全国に発信し、先進的取組のモデル校としての地位を築き、「指商」ブランドを全国ブランドとする。事業内容は指商デパートの経営や地域活性化事業となる。設立後5月に株主総会を開催、統括事業本部(生徒代表)に入る幹部生徒9人の選任議案が可決された。会社の組織は、指商OBの代表取締役(社長)をはじめ、取締役には地元経営者3人に入ってもらい経営のアドバイスをもらう。また、監査役も設置し、税理士等から会計処理のアドバイスをもらう。会計処理は、簿記部が会計ソフトを使い処理を行う。簿記部を財務部として組織に位置づけ、授業で学習した簿記会計を実学として生かす仕組みにしている。このように、地域社会・企業と一緒に実践型ビジネス教育を学ぶ。7月には企業向けの新事業企画提案会を実施した。企業向けに授業で企画書を書き、代表者がプレゼンをする。参加企業は55社67人と「指商」への期待が感じられた。発表後は企業から価格設定や売上予測などの質疑応答となる。後日、企業から事業依頼の申し出があり契約書を交わす運びとなった。初事業は「東北被災地支援」である。11月には、設立後初の指商デパートが開催された。生徒(株主)は、仕入先との打ち合わせから真剣そのもので、利益を生むために話し合いをしてきた。商品開発は生徒(株主)のアイデアが権利化へとつながるため、知的財産に関しては契約書で整理することにした。ビジネス教育は利益を追求することも大切であるが、企業活動としてのマーケティングの重要性を学ぶことも大切であると感じる。

(1) 設立の手順の柱

① 会社設立のフレーム

社名及び設立目的の設定(公認会計士等)

対象全生徒へのプレゼン(概要説明)、PTA(出資金)、同窓会(支援体制構築)



② 定款の作成

公証人役場において定款認証(司法書士からの指導)



③ 設立登記

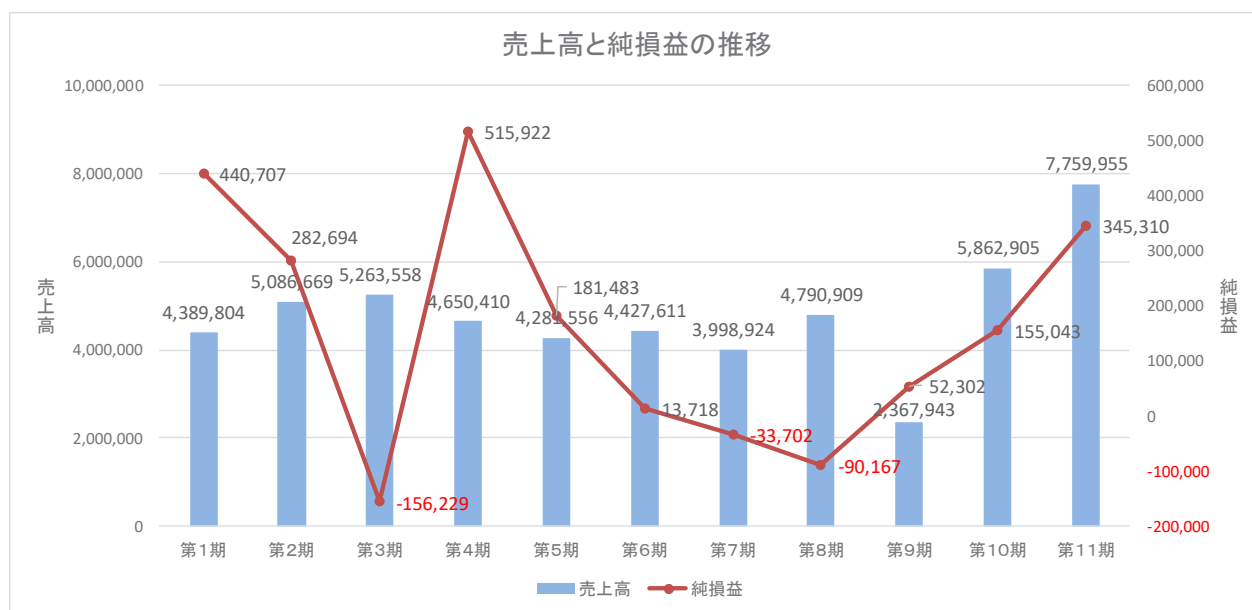
設立登記申請書類を法務局に提出



④ 校内での組織化

株式会社指商 売上高と純損益の推移

	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	4,389,804	5,086,669	5,263,558	4,650,410	4,281,556	4,427,611	3,998,924	4,790,909	2,367,943	5,862,905	7,759,955
純損益	440,707	282,694	-156,229	515,922	181,483	13,718	-33,702	-90,167	52,302	155,043	345,310



2 第11期（令和4年度）の主な活動実績

(1) 入学式販売実習・・・4月7日（木）

入学式終了後、新入生・保護者に emifull×指商の「豆腐ドーナツ」を販売した。



【(1) 入学式販売実習】



【(4) PTA総会販売実習】



【emifullの豆腐ドーナツ】

(2) 統括事業本部役員選考面接会・・・4月28日（木）

第11期の株式会社指商の中心となって、企画・運営する役員としての意気込みや熱意を知るために実施した。作文による審議の結果第11期統括事業本部役員3年生9名（3月に決定済み）、2年生15名、1年生3名の計27名が新役員として組織された。

(3) 統括事業本部役員紹介・・・5月

第11期の統括事業本部役員27名の役職の紹介を行った。コロナ禍で三学年そろっての全校朝礼ができない関係で三年連続紙面での紹介になった。

(4) P T A 総会販売実習・・・5月17日(火)

入学式同様3年生の統括事業本部役員を中心に emifull×指商の「豆腐ドーナツ」を販売した。

(5) 第11期 第1回取締役会・第11期株主総会・・・5月24日(火)

取締役会

取締役会では、ご出席された取締役等の紹介、第11期統括事業本部役員紹介を終え、株式譲渡、第10期活動報告・決算報告、第11期活動計画案等を報告。取締役から販売実習で売り上げた個数を参考に次の年度の販売につなげてほしいなどの意見を頂いた。また、電子決済やネット販売についてのご意見もいただいた。



【(5) 第11期 取締役会の様子】

株主総会

株主総会では株主である全校生徒が出席した。株主としての自覚を持ってもらう事を目的に、実際に会社を運営されている役員の方からの講話をいただいた。



【(5) 第11期 株主総会の様子】

【(6) 市役所での納税】

(6) 納税・・・5月31日(火)

第10期の国税・法人県民税等・法人市民税等の納税を行った。

(7) ローカルマルシェ(アミュ広場)・・・7月9日(土)・10日(日)

夏休みの販売実習に向けて1学期に販売体験ができる機会を探していたところ、前年度よりつながりのある企画イベント会社よりお話をいただき、参加させていただいた。鹿児島中央駅に直結したアミュプラザ鹿児島のイベント広場を無償で提供していただき、地元特産品を中心に販売実習を行った。



【(7) ローカルマルシェでの販売風景】

(8) 山形屋販売実習事前講習会・・・8月3日(水)

山形屋販売実習の前に、実際に接客を行っている方から実践的な指導を受けた。日頃自分たちが販売しているときと比較して、大きく違うことを実感し、今後の販売実習に向けて貴重な体験となった。

(9) 株式会社山形屋での販売実習・・・8月20日(土)・21日(日)

新型コロナウイルスの影響で中止となっていたが、3年ぶりに山形屋での販売実習をさせていただいた。1年生から3年生まで全員が初めての体験となったが、試行錯誤しながらも多くのお客様にご来場いただき、大成功となった。



【(8) 山形屋販売実習事前講習会】



【(9) 株式会社山形屋での販売実習】



(10) 第32回指商デパート・・・11月23日(水)

指商の行事の中でも一大イベントである、指商デパートの中で株式会社指商として出店した。今回はCakeHouse Andersenからスイートポテトを、Café&ber Elsol87からサンドウィッチ2種類を新たに仕入れさせていただいた。従来どおり、中園久太郎商店やemifullとの共同販売もさせてもらい、来年度の新しい販売の形が見えてきた。

出店と同時に、募金活動も行い17,029円の協力をいただいた。



【(10) 指商デパートでの販売】



【(11) フラワーパークでの販売】

(11) フラワーパーク販売実習・・・2月12日(日)

例年声をかけていただき、参加している地元での販売実習である。今回はemifullからドーナツ2個入りと、慈生園からクッキーシュークリームを仕入れ販売した。

(12) 指商デパート募金の贈呈・・・2月19日(日)

指商デパートで集まった17,029円の募金を、地域のこども食堂へ寄贈した。これは前回から継続している取り組みで、地域貢献を意識した生徒からの企画である。

(13) 本の贈呈

指宿市内の小・中学校への寄贈がひととおり終了したため、今年度から利益の株主への配当の観点から、本校の図書館への寄贈を取締役会で認めていただいた。

(14) 年度報告会・・・2月21日(火)

3年生統括本部役員の最後の仕事である。コロナ禍ではあったが、株式会社指商報告会として行った。計画通りに実施できなかった販売実習などもあったが、一年間やり遂げたことを取締役の方々そして株主の方々に良い報告ができるようにしていきたいと思っております。



【(12) 指商デパート募金の贈呈】



【(13) 本の贈呈】



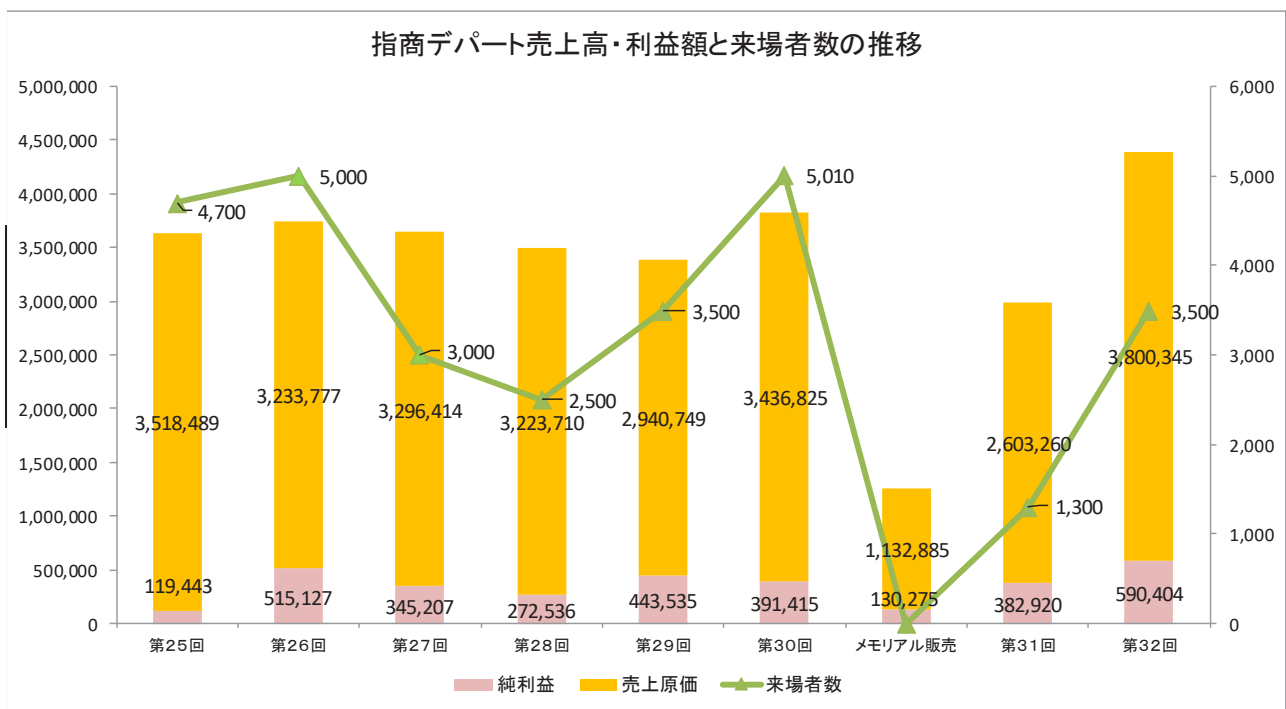
【(14) 年度報告会】

Ⅲ 指商デパート

鹿児島県初の学校デパートとして、令和5年度で33回を迎える。生徒が商品の仕入から販売・決算までを行う学習の集大成の活動である。学校体育館や中庭、正門周辺を催事場として、学級ごとに店舗を経営し、特産品や野菜・果物等様々な商品を販売する。商品のレイアウトやPOPの作成なども自分たちで行う年1回1日限りの本校最大イベントである。令和3年度からコロナウイルス感染防止対策の一環として、非接触型電子決済ペイペイを導入するなど、常に先進的な取り組みを行っている。過去のデータは以下の通りである。

指商デパートの推移

	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	メモリアル販売	第31回	第32回
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	3,637,932	3,748,904	3,641,621	3,496,246	3,384,284	3,828,240	1,263,160	2,986,180	4,390,749
純利益	119,443	515,127	345,207	272,536	443,535	391,415	130,275	382,920	590,404
来場者数	4,700	5,000	3,000	2,500	3,500	5,010	—	1,300	3,500





【体育館内の店舗】



【開店時のテープカット】



【中庭マルシェ】



【食物バザー】



【キッズコーナー】



【キッチンカー】

なお、令和2年度は新型コロナウイルスの影響から指商デパートの代替行事として、「課題研究メモリアル販売実習」を行った。コロナ禍で密を避けるために指商デパートの開催を断念したが、生徒に販売の体験をさせたいとの思いから、3年生のみでドライブスルー方式で販売実習を行う形式をとった。開催を疑問視する声もあったが、本校職員が「生徒たちに経験させたい、出来ることは何か」を模索した結果実現したものである。



【ドライブスルーの準備】



【ドライブスルーの様子】



【接触を避けて商品の受け渡し】

1 指商デパートの概要

(1) 目的

- ① 商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、国民経済における商業の意識や役割を理解させるとともに、商業の諸活動を合理的に行う能力と態度を育て、経済社会の形成者として望ましい資質を養う。
- ② 各教科・科目の指導にあたっては、実践的・体験的学習を重視する。
- ③ 経済活動や技術革新の進展に伴う、経済環境・経済政策・消費者志向などに関心をもたせ、具体的な事例として『指商デパート』を開設し、理解を深める。

(2) 意義

- ① 商業教育の活性化、特色ある学校作りを推進する運動の一環として、地域社会と連携を図り、本校教育の学習成果を紹介し、広く理解と協力を得る場とする。
- ② 各教科・科目で学習した知識・技術・態度等を実践的・体験的に学習させ、正しい勤労観・職業観を養う。
- ③ 生徒自らの手によって、仕入から販売・決算までを運営することによって自主的・自立的な心を

育成する。

- ④ 生徒に学ぶことの楽しさ、達成後の満足感を体得させ、実社会に出てからの職業生活の心構えを身につけさせると同時に、経営管理的な能力を養う。

(3) 内 容

指商デパートは学校全体の体験学習の場として年に1回開催し、学校体育館及び中庭等を売り場として実施し、その内容は次のとおりとする。

- ① 体育館店舗は3学年を中心に行い、食物バザーは1, 2学年を中心に行う。
- ② 取扱商品はメーカー品を中心として、安くて良い品を提供する。
(肉類・魚貝類は原則として販売しない。)
- ③ 商品・現金等についてすべて保険をつけて盗難や破損にそなえる。
- ④ 仕入商品の代金は後払いとして売れ残った商品は原則として全部返品する。
- ⑤ 販売方法は対面販売とする。
- ⑥ 各店舗では決算まで行う。
- ⑦ PR広告は、各テレビ局・新聞社等のマスコミや市報・チラシ等を利用して広告する。
- ⑧ 顧客には商品の販売のつど、レジスターによるレシートを渡す。
- ⑨ 顧客に対してアンケート調査を実施し、今後の参考にする。

(4) 留意事項

- ① 取扱商品については市場調査にもとづき決定する。腐敗しやすいもの、生もの等は避けること。
- ② 災害防止・安全の配慮・駐車場の整備と管理をしっかりとる。
- ③ PR・広告が誇大にならないようにする。
- ④ 金銭・商品の管理を徹底する。
- ⑤ 記帳(会計)面の指導を徹底する。
- ⑥ 人的配置の適正と各係間の連絡を密接に行う。
- ⑦ 地域商店との関係・地域住民の協力を得て実施する。
- ⑧ 指商デパートの店舗の1つとして食堂部(食物バザー)を設置する。

(5) 実施上の注意

- ① 来校された顧客に対し、不快感を与えないよう服装・態度・言葉遣い等に注意する。
- ② 即売会・バザールとは根本的に異なり、授業の一貫であり、お祭り気分にならないようにする。
- ③ 生徒全員の一致協力によって、運営されるものであり、自分の業務に責任を持ち、職場を離れるなどの勝手な行動はしない。店舗にあっては店長を中心に、心を一つにして店舗の経営にあたる。他の部署についても同様である。
- ④ 営業時間内で買い物は行わず、食事・休息時は、お客様や同僚に迷惑をかけぬよう決められた交代時間と場所を厳守する。
- ⑤ 生徒は身分証明書を付ける。
- ⑥ 各店舗においては、取扱商品についての知識を持つこと。また、商品の管理を十分に行うとともに売上代金、釣銭を間違えないようにする。

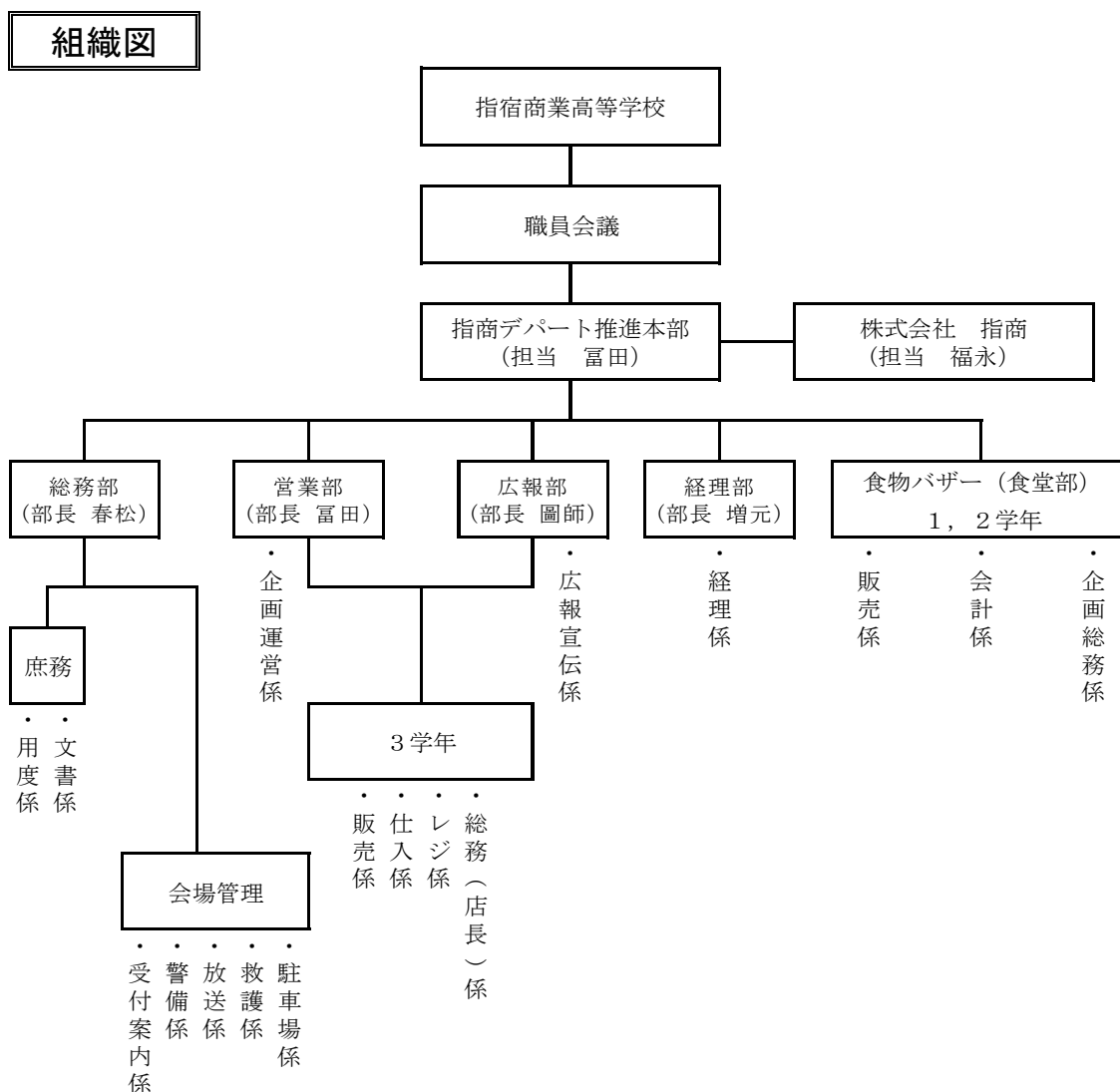
2 組織図

- ・生徒の手による指商デパートの開設

株式会社 指商の一事業として、指商デパートを経営し一般の地域住民、保護者の協力のもとに、

仕入れ・広告・販売・経理等の実践的、体験的学習を行い、目標達成に努め、職業人としての知識・技術・資質等を養う。

- 指商デパートの組織は、生徒が中心で、その組織は次のようになっている。



(1) 総務部

- ① 庶務係…外部との連絡（消防・保険・警備・警察等），会場設営に関する業務，備品消耗品の管理，文書作成，案内状，アンケート，記録等の仕事を行う。

ア 用度係について

- ・備品，買い物袋，事務用消耗品の点検と補充。
- ・デパート終了後の備品，消耗品等の回収・整理・点検・保管。

イ 文書係について

- ・仕入先との打ち合わせ会の案内状郵送。
- ・保護者への開催通知の作成・発送。
- ・警察署・消防署・保健所等への手続き書類の作成と依頼。

- ② 会場管理

ア 駐車場係について

- ・駐車場は，校庭，今和泉小学校，篤姫駐車場とする。駐車場の標識・立札を準備する。
- ・駐車場内における車の誘導と整理を行う。特に担当教師は事故が発生しないように注意すること。生徒は来訪者やお客様に対して挨拶等積極的に行うこと。

- ・原則として、生徒・職員は駐車誘導をしない。
- イ 警備係について
 - ・館内外の警備・保安・特に館内での盗難に注意すること。
 - ・開店までの来客者の入場指導を行う。
- ウ 受付案内係について
 - ・指商デパートの従業員であることを常に意識して、礼儀・態度・服装・言葉遣い等に特に注意すること。
 - ・体育館玄関前に来賓者・お客様の受付案内を設置する。
 - ・入場者を計数器により調査する。
- エ 放送係について
 - ・館内放送及び迷子呼出し等の放送を行う。
- オ 救護係について
 - ・救急薬品等を準備する。
 - ・傷病者の応急処置に携わる。

(2) 営業部・広報部

営業部・広報部…各店舗との連携を十分にとって能率的な運営を図る。

① 企画運営係

- ・市場調査，仕入商品の管理，販売計画，売場決定，店舗設営，商品管理，会場設営に関する業務（館内装飾品の準備も含む）
- ・デパートで取り扱う品物を総括し，各店舗ごとの仕入商品を把握しスムーズに販売できるように計画・準備・実行する。
- ・販売計画・市場調査・売価決定等，店舗ごとに把握し，売り場全体のバランスを考えて店舗間の連絡調整をする。
- ・店舗毎に来客の性別や年齢層を考え，流れを想定し，関連購買を促進するための配置や店舗割りを行う。
- ・来客の安全や，全体の統一・調和を考えて製作する。

② 広報宣伝係

- ・立看板，プライスカード，ポスター，チラシ，ビラ，その他，PRなどの販売促進の重要な分野を占める広報宣伝活動や店頭・店内広告を担当する。

●ポスター・プライスカードについて

- ・各店舗のプライスカードと，デパート用ポスターを作成する。作成には美術部の協力を得る。

●立看板について

- ・宣伝用・案内用の立看板を作成する。

●マスコミ・広報対策について

- ・広報紙「指宿市報」に掲載するための原稿を作成する。
- ・指宿市の広報課に，広告掲載を依頼する。
- ・各新聞社の放送局への記事依頼は，デパート開催1ヶ月前までに各新聞社，放送局に出かけて協力を依頼する。（南日本新聞社，NHK，MBC，KKB，KTS，KYT等）



【テレビ局での取材風景】

●案内状について

- ・配布先を検討して，案内状の作成。
- ・案内状の発送は，総務部へ依頼する。

●チラシについて

- ・配布先，配布枚数を検討し，印刷を依頼する。

第32回 指商デパート
 変わるこの世に変わるめ伝統IBUSHOから輝く笑顔と感謝をおもてなしにかえて
 令和4年11月23日(水) 10:00~13:30

食物パズル
 黒毛和牛すじカレー ケンチ海苔餅 焼き鳥 唐揚げ
 焼きそば フライドポテト コロッケ たこ焼き
 おにぎり 肉巻きおにぎり 回転焼き しんこ団子
 クレープ ケーズ・ショコラケーキ などなど

休養館内
 米 肉 野菜 果物 漬物 豆腐 さつまいも揚げ
 茶葉 和菓子 洋菓子 花 観葉植物
 韓国特産 北海道特産 など人気商品がいっぱい！
 さらさらした決済も
 ぜひご利用ください
 PayPay

キッズコーナー
 炸串屋、大好評だったケンチンカーは
 ハンドメイド作品の展示も加わって
 中庭マルシェを開催！
 オムライス 中華鍋飯 ネットオーダー ハンバーガー
 タコライス コロッケ メンチカツ フランクフルト
 コーヒー カフェテラ スカッシュ など
 (キッズ用・子供用13名)
 ※感染症対策のため、会場内でのご飲食はできません。

指商生と楽しもう！
 キッズスペースには花火作り、ストックアクト、
 輪投げなどをご用意！楽しんでたのめちます！
 などと今年も音楽隊も登場！写真撮影もできちゃおう！
 思い出を沢山作っちゃいましょう！

4年ぶりとなる大抽選会の開催決定！
 賞品にはお食事招待券、ヘア入浴券、宿泊券や
 1万円の旅券など豪華な賞品が盛り沢山！
 この機会に素敵な賞品を出しちゃおう！
 ※1店舗税込1000円のお買い物を抽選券1枚配布
 ※抽選時間 ①11:30 ②12:30 ③13:30

お客さまへ
 入場整理券・入場許可証のない方は入場できません。
 会場内では必ずマスクの着用をお願い致します。
 当日の会場内のご飲食はできません。
 株主向けに体温検測を実施し体温が高かった方は、
 入場をお断りする場合がございます。
 ご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ
 指宿市立指宿商業高等学校
 〒891-0315 鹿児島県指宿市岩本2747番地
 ☎0993-25-2204

【お問い合わせ】指宿市立指宿商業高等学校 〒891-0315 鹿児島県指宿市岩本2747番地
 Tel : 0993-25-2204 Fax : 0993-25-4527 http : //www.12.synapse.ne.jp/ibusyo/

【第32回ポスター】

(3) 経理部

経理部…指商デパートの経理処理を行う。特にデパート当日の現金受入れについては十分注意し、管理を行う。

① 経理係

- ・売場別売上の集計，売上代金の集金，釣銭の準備，両替，仕入代金の支払い，予算，決算，レジスター管理，キャッシュレス決済(PayPay)の運用。

●両替について

- ・各店舗からの両替は全てこの窓口で行う。
- ・現金を受け取る時は必ず「〇〇円お預かりします」と一言相手に現金の確認をとってから受け取る。
- ・両替金を渡す前に必ず，もう一度相手の前で数えてみてから「千円札で〇枚〇円です。お確かめください。」と言って渡す。

●集金について

- ・集金は，多額の現金を扱うので細心の注意を払い，迅速かつ安全に行わなければならない。
- ・係は，担当職員と一緒に11時，12時，13時に集金を行う。
- ・集金する現金は，千円札以上とする。しかし，店舗の要請があれば小銭を集金してもよい。
- ・経理係は釣銭受領証に，店舗担当教師から押印をもらう。
- ・店舗から集金する現金は，レジ係の申し出た金額をうのみにせず必ず自分で確認する。

(最低2度数える)

・ 集金業務の間に経理業務を行う。

● 経理全般について

・ 各店舗に開店前に釣り銭を準備する。

・ 各店舗から集金した現金を再度確認して管理する。

・ 閉店後店舗から提出される売上集計表（レジ係作成）を確認する。

・ 指商デパート終了後、各店舗から収支報告書を提出してもらい、確認後、営業部へ提出する。

・ 代金支払い方法は、銀行振込等を利用する。

・ 指商デパート終了後一ヶ月以内に仕入れ代金支払い一覧表を作成し、各仕入先からの請求書を確認して代金の支払いをする。

(4) 食物バザー

① 食堂部本部（1・2学年）

ア 食堂部の企画立案をし、各クラスとの連携を十分にとって能率的な運営を図る。

イ 各クラスの販売方法を事前に保健所に報告し、検便の必要の有無を確認し、衛生面に十分注意し、各クラスと連絡調整する。

② 各クラス

ア 企画総務係について

・ バザー店舗の紹介、全体的バザーの立案交渉、各クラスでの細案、店舗の飾りつけ、ゴミ分別。

・ 食堂部の店舗が決まったら店舗先と販売方法の話し合いをし、商品の仕入れ価格と販売価格を計画・準備・案内をする。

・ バザーの会場設営・撤去・ゴミの片付け。

・ 市場価格を参考し、販売価格の決定を行う。

イ 会計係について

・ 食券の作成を行う。

・ 生徒が購入する場合は、必ず前売り券を利用することとし、当日券の購入はできない。商品は食券と引換え。

・ 食券及び代金の管理は担当教師が責任持つて行う。

ウ 販売係について

・ 配膳を正しく行う。

・ 服装、言葉遣いに注意し、気持ちのよい対応をすることによりお客様に満足してお買い物をして頂く。

3 各店舗の業務

(1) 店長

① 店舗の責任者として自覚を持ち、取引がスムーズに運営されるように留意するとともに、商品・現金などの店舗全般についての管理を行う。

② 店舗の販売係・レジ係が多忙な場合は、その業務を手伝い、欠勤その他支障のある場合は、これを代行する。

③ 店舗販売商品一覧表の作成

・ 店長は仕入係・販売係と連携し、一覧表を作成する。

④ 当日閉店後、仕入販売係と一緒に棚卸を実施し、担当教師の指導のもと商品ごとに残数を記録す

る。後日、経理部へ提出。

(2) レジ係

① 釣銭について

・開店前に経理係より釣銭を受け取り、釣銭領収証に担当教師が押印する。

② 売上代金の入金記録・受け渡しについて

・販売係からの連絡により、商品と定価札（値札）と現金を確認して、定価金額をレジスターに入力する。

・受け取った現金とレシートを確認する。その時、釣銭があれば再度釣銭をチェックして販売係に渡す。

③ 両替について

・小額の貨幣が少なくなった場合、なるべく早目に経理部に出かけ両替すること。

・両替の必要が生じた時、請求金額（金種ごとに）を両替請求書に記入して、店舗主任・担当教師の押印をうけて両替所に提出すること。

・レジ係は現金を持ち帰り、両替を行った金額に間違いがないか、再度確認の上、店長・担当教師に報告する。

④ 経理係の集金について

・多額の売上代金を手もとに残しておかないために、11時、12時、13時に集金を行う。

・経理係が集金に来たら、釣銭用は残して、千円以上の売上代金を集金してもらう。

⑤ 当日閉店後の売上代金の処理について

・閉店後、レジ係は速やかに手もとの現金を計算する。

・現金等は、店長、担当職員と共に、現金を持って経理部へ行く。

・指商デパート終了後、収支報告書を作成すること。



【店舗での会計】



【レジ講習会】



【ペイペイの導入】

(3) 仕入係

① 品質・数量・仕入価格について

・商品の仕入にあたっては、いわゆるメーカー品で信用のある商品、製造年月日の新しい商品、市場人気の高い商品等を仕入、生もの等はなるべく避ける。このことを原則として仕入商品の品質・数量・価格を慎重に検討する。

・総合実践の授業で市場調査などを実施する。

・新聞の広告、チラシ等を集め、一般的な商品の価格を知る。

・仕入業者に本年度の商品の傾向などを聞く。

・その他の仕入情報の収集に努める。

② 仕入先の選定について

・仕入先についてはできるだけ9月末日までに協力をお願いする。

③ 仕入先との打合わせについて

・デパート開催1ヶ月前までには、仕入先と打ち合わせを行う。

- ④ 打合わせ内容について
 - ・見積書の内容（品名・仕入単価・数量）及び提出期日
 - ・搬入日時・搬入方法・返品日時・返品方法・請求書及び代金支払方法
- ⑤ 商品の受入れについて
 - ・商品の受入れはデパート開催の前々日と前日に行う。
- ⑥ 商品の返品について
 - ・デパートが閉店したら各店舗ごとに商品の棚卸を実施し、収支報告書を作成する。
 - ・返品の出荷は原則として開催の次の日とする。
- ⑦ 仕入代金の支払いについて
 - ・デパート終了後、仕入先より提出された請求書の金額と経理係からの仕入金額が一致しているか確認する。



【各店舗の設営・商品搬入・陳列の様子】

（４）販売係

- ① 販売価格の決定について
 - ・市場価格を参考にする。
- ② 販売係の任務について
 - ・行き届いた売場をつくり、気持ちのよい態度や言葉遣いをするによりお客様に満足してお買い物をしていただくことである。
 - ・売場は指商デパートの顔であり、販売係の一人一人が指商デパートの代表としてお客様に接するため、各人の応対次第で指商デパートの印象まで決定することになる。売場の代表であり、指商の代表であることを常に自覚して、軽々しい振る舞いや、いい加減な応対は慎まなければならない。
 - ・常に言葉遣いや態度に注意し、誠意を持ってお客様へのサービスに努める。店舗内の飲食は厳禁。
 - ・売場では、いつどんな場合にお客様がこられても、快くお迎えできるよう万全の準備と待機の姿勢が必要である。そのためには、販売係は常に協力して自分達の店舗は自分達の手で守るという強い自覚を持つ必要がある。
 - ・常に販売商品をきれいに陳列しておくこと。
 - ・取扱商品について十分な知識を持ち、お客様へ説明ができること。
 - ・接客上、言葉遣いが最も大切である。常に正しい言葉遣いと、誠意のこもった言葉を使うことによって、お客様が気持ちよく満足のいく買い物をしていただけるように、努めなければならない。
 - ・お客様との金銭の受渡しは、釣り銭トレーを介して行うこと。
- ③ お客様への話し方について
 - ・常に明るい気持ちと笑顔を持って話をしよう。
 - ・感謝の気持ちを忘れず礼儀正しく話しをしよう。
 - ・要点を強調しながら順序よく話しをしよう。
 - ・適当な間をおいてゆっくりと、語尾を明瞭にして話をしよう。
 - ・熱意と自信のある言葉遣いで話をしよう。

④ 苦情について

・お客様とは絶対にトラブルをおこさないように気をつける。お客様からの苦情等は良くお聞きして担当教師の指示を受けるようにする。

⑤ 閉店後について

・商品を整理して商品の数量の確認を行う。これらの作業の結果は、商品の仕入代金の支払と、決算における最も重要な資料となるので、間違いがないように何度も慎重に数えること。仕入先への支払と決算がスムーズにいくかどうかは、これらの作業が正確に行われるかどうかにかかっている。

4 抽選賞品の提供依頼企業一覧

	協賛企業名	抽選賞品内容	備考
1	JTB九州 様	1万円分の旅行券	1名様
2	花の温泉ホテル 吟松 様	ペア宿泊券	1名様
3	指宿ベイヒルズ 様	ランチフレンチコースご招待券 (ペア)	2名様
4	指宿白水館 様	「フェニーチェ」ランチ券 (ペア)	3名様
5	秀水園 様	ギフト券1万円分	1名様
6	指宿休暇村 様	指宿海鮮ランチ食事券 (ペア)	2名様
7	指宿シーサイドホテル 様	御食事招待券 (ペア)	1名様
8	指宿海上ホテル 様	ペア宿泊券 (1泊2食付)	1名様
9	指商同窓会	いぶすき共通商品券5千円分	2名様
10	黒豚と郷土料理 青葉 様	御食事券2千円分	5名様
11	家族温泉 野の香 様	家族湯平日入浴券	5名様
12	信州庵 様	御食事券1500円分	3名様
13	指宿こころの湯 様	ペア入浴券	3名様
14	古民家で昼ごはん梅里 様	特選お米5キロ	2名様
15	肉の上高原 様	鹿児島産純粋黒豚ロインしゃぶしゃぶ500g	5名様
16	指宿ロイヤルホテル 様	黒薩摩焼	3名様
17	池田湖パラダイス 様	お菓子の詰め合わせ	5名様
18	指宿フェニックスホテル 様	お菓子セット	5名様
19	松木 様	ミニトマト	5名様
20	今和泉郵便局 様	年賀ハガキセット	5名様



【抽選会の様子】

5 事前指導資料

(はじめに)

指商デパートは、お客様に楽しく過ごしていただき、私たちの接客に満足していただくことで成り立っています。

この手引きは、皆さんが指商デパートで勤務するために、最低限知っておいていただかなければならないことや、守っていただかなければならないことを取り上げたものです。

よく読んで内容を理解し、お客様に楽しい時間を過ごしていただけるように努力してください。

「指商デパート経営理念」

【指針】

「こころに残るおもてなし」

「いきいきとした地域社会づくりへの貢献」

「社会から信頼される行動」

【キャッチコピー】

「変わるこの世に変わらぬ伝統

IBUSHO から輝く笑顔と感謝を

おもてなしにかえて」

1. 日時、営業時間、開店までの流れについて

(1) 日 時：令和4年11月23日(水)

営業時間：10時00分～13時30分

(2) 開店までの流れ

- ・8時30分から各教室(食事会場)でSHR。(出欠、服装チェック、諸連絡)
- ・8時50分から開店前準備。
- ・9時15分から全体朝礼。(下記2.で説明)
- ・9時55分から開店式(10時00分開店)

1

2. 全体朝礼について

(1) 当日9時15分より朝礼を行います。10分程度で終わりますので作業は一旦中止して下さい。

場所は3年生は体育館、1・2年生は職員駐車場中央に集合してください。

(食物バザーの店舗は最低1名、店舗に待機して下さい。)

3. 身分証明証・ハッピーについて

(1) 当日はすでに配布されている自分の身分証明証を首からさげてください。

(2) 3年生と2年3組の店長・副店長20名は当日ハッピー(青)を着て販売をする。

(3) 3年課題研究の指商デパート・株指商は当日ハッピー(赤・緑)を着て販売をする。

※ハッピーは事務室より借りますが、紛失した場合は弁償となりますので洗濯後、返却までしっかりお願いします。

4. 食事・休憩について

(1) 各クラスで休憩時間は決めることとなりますが、休憩中も従業員としての自覚を持ち、はじめをつけて行動してください。交代がスムーズにいくように時間を厳守してください。

(2) 食事場所は、各クラスごとに割り当てています。(p11参照)決められた食事場所以外、机の移動は行わず、前を向いて黙食してください。

(3) 食事会場への移動は、必ず決まった場所を通って行くようにしてください。進入禁止箇所もありますので注意してください。

(4) 一般の方は、従業員(生徒)の食事会場へは入れません。友人等を勝手に入れることがないようにして下さい。

5. 食券販売、食物バザー販売について

(1) 一般客への食券販売は10時00分からとします。各店舗での現金販売は行わないこと。

(2) 一般客への食物バザー販売は10時00分からとします。

(3) 生徒は食物バザー会場で購入しないでください。

6. 食物バザー商品引き換え(生徒)について

(1) 生徒の引換場所は、3年1組、3年2組、3年3組、3年4組の教室です。詳細は、(p12)を確認して下さい。

(2) 生徒の食物バザー商品引換の時間は11時00分から13時00分とします。

(3) 引換所内では、誘導員の指示に従い、静かに行動して下さい。

7. 買い物について

(1) 従業員(生徒)は、営業時間内(10:00～13:30)の買い物は行わないこと。ただし、閉店後13:30～14:00までを従業員(生徒)への販売時間とします。

2

8. 店内歩行について

(1) 学校内を歩くときは常にお客様優先です。お客様の前を横切ったり、通路をふさいだりしないでください。

(2) 通行中にお客様とすれ違うときには軽く会釈をし、明るく「いらっしゃいませ」と声をかけてください。

9. 店内案内について

(1) お客様から売場や施設などのお尋ねがあったときは、正確に案内してください。

(2) 接客用語は「〇〇売場でございますね」「少々お待ちくださいませ」などです。

(3) ご案内がすんだら「ありがとうございました」と声をかけてください。

10. 遺失物・拾得物について

(1) 遺失物等があった場合は、体育館入り口に総合案内所がありますので、係に渡ししてください。その後、総合案内係は校内放送をすること。

11. 服装・身だしなみについて

(1) 服装や身だしなみは、その人の人格や勤務に対する心構えを表すものです。清潔で好感の持てる服装・身だしなみを心がけてください。

12. 販売態度、言葉づかいについて

(1) 常に明るく笑顔で、お客様第一で行動しましょう。

(2) お客様には常に敬語で接しましょう。

(3) 承ったことは常に復唱・確認をし、正確に対応しましょう。

(4) 売場で腕組みをしたり、ケースや壁にもたれたりすることはやめてください。

(5) 勤務中は、私語雑談は避けてください。

(6) 無断離席せず、離席するときは行き先をはっきり伝えてください。

(7) 通路のゴミ・紙くずを見つけたら、すぐに拾いましょう。

(8) お客様だけでなく従業員間でも、常に礼儀正しくしましょう。

(9) 商品は大切に扱ってください。

(10) 販売基本用語を正しく使いましょう。

13. 新型コロナウイルス感染防止対策について

(1) 手洗いや手指のアルコール消毒をこまめに行い、マスク(不織布)は正しく着用してください。

(2) 発熱、風邪症状、嗅覚異常や味覚障害など体調が思わしくない場合は勤務につかないでください。

(3) 不特定多数の方が触れる箇所は消毒清掃をこまめに実施してください。

(4) お客様との釣り銭の受け渡しは、釣り銭トレーを介して行ってください。

(5) 大声を上げてお客様の呼び込みは行わないでください。

3

14. キャッシュレス決済(PayPay)の支払い・返金について(p16)

(1) 代金支払いの際には、現金支払いがPayPay支払いか確認してください。

(2) キャッシュレス決済(PayPay)の場合は、以下の要領で行ってください。

- ①各店舗ごとのQRコードを提示し、読み込んでもらう
- ↓
- ②店舗名に間違いがないか確認する
- ↓
- ③支払金額を提示し、お客様に入力してもらう
- ↓
- ④入力された金額を確認し、間違いがあれば「支払う」をタップしてもらう
- ↓
- ⑤「PayPay」という音が鳴ったら、支払い完了

(3) 支払い完了後、間違いに気づいた場合はPayPay本部にお客様と一緒に来てくださいます。

15. 販売基本用語

①いらっしゃいませ

③ありがとうございます

⑤少々おまちください

⑦恐れ入ります

⑨申し訳ございません

②はい、どうぞご覧くださいませ

④はい、かしこまりました

⑥お待たせいたしました

⑧失礼いたします

⑩また、お越し下さいませ

4

Ⅳ ICP（指宿茶いっぺプロジェクト）活動

3年生の課題研究の授業で、毎週金曜日に指宿駅や観光特急「指宿のたまて箱号」に乗車して観光客へのおもてなし活動を行っている。ICPは「茶いっぺ」の言葉に表れる鹿児島のおもてなしの心を受け継いだプロジェクトである。積極的に指宿の良さを発信し、観光に来られた方々に心に残る体験をしていただくための活動を行っている。例年7月の七夕の時期に合わせて浴衣を着ておもてなし活動を実施しているが、それに合わせて、全校生徒で「指宿のたまて箱号」に手や旗を振る活動も実践している。今回は新型コロナウイルスの蔓延以降の取り組みを紹介させていただく。

1 コロナ禍での取り組み

(1) JACと一緒に機内誌を作成

本来なら、機内誌のコラムを一緒に制作するという予定だったが、コロナが流行し機内誌の表紙のクイズ、裏表紙のクイズの解答と同時に学校紹介を記載できるようになった。ちょうど指宿のアロハシャツのオーダーメイド店「Hou'oli」とアロハ生地を作って何かできないか模索していたところ、生地の余りを安くで購入してポケットティッシュケースを製作していたので、それを記事にしている。



～表紙クイズの答え～
ポケットティッシュケースです！
指宿商業高校のICP活動の一環で、アロハシャツの生地を使って作成しました。
ICPとは“指宿茶いっぺプロジェクト”の略です。課題研究という授業の中で、指宿を訪れた観光客の方々にお茶を使ったおもてなし活動を行っています。今年は外出自粛の中でもできることをみんなで考え、このティッシュケースを作成しました。使用した生地は、指宿駅近くの「Hou'oli」という、オーダーアロハシャツを扱う衣料品から仕入れさせて頂きました。この店では「新型コロナウイルスで人通りの少なくなった街を明るくしたい」との思いから、アロハ生地を使ったマスクを作り、来店者にプレゼントしています。
このマスクと私たちが作ったティッシュケースは、アロハシャツを作る際の余った生地を利用することで、SDGsにも繋がっています。

(クイズを考えてくれたのは…)
指宿商業高校の生徒のみなさんでした！

指宿商業高等学校は、株式会社指商としても活動しています。指宿商業高校は、資格取得に熱心な高校です。簿記、パソコン、電卓など実践的なことを学ぶことができます。
年に1度、指商デパートという、生徒が主体となって運営するイベントがあります。たくさんの方にお越しいただいて、とてもにぎやかで活気あふれるイベントとなっています。
海が近く、自然に囲まれた素敵な学校です。指商をどうぞよろしく願います。

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。
2020夏(ツユクサ)
Vol.13
JAC NOW
～ゆいタイム～

クイズ： このカラフルな布はなんだろう？

【実際に掲載されたJACの機内誌】

(2) マスクを子どもたちへ

4月はコロナの影響でマスク不足が起こり、価格が高騰する事態となった。何かできることはないかということで、隣接するつちはし子ども園に手作りマスクを贈ることにした。



【マスク制作の様子】



【贈呈式】



【手作りマスクの着用写真】

(3) アロハシャツオーダーメイドのお店「Hou'oli」とのコラボ企画

指宿では、毎年4月末に「アロハ宣言」があり、その日から10月末までアロハシャツを着用している。そこでアロハの生地で何か製作できないかと考え、アロハ生地の端切れを安くで購入し、ポケットティッシュケースを製作することにした。

製作したポケットティッシュケースは、コロナの影響で運休していた「いぶたま号」が再開したときに、乗客の方にプレゼントすることが出来た。



【イベントでマスクを贈呈】



【乗客への配布】



【ポケットティッシュケース】

(4) 「そうしんアグリハイスクール支援プログラム」

県内で5校目となる鹿児島相互信用金庫の「そうしんアグリハイスクール支援事業」に本校が選出され、「指宿らしさ」が感じられる商品を2つ開発した。まず総合的なネーミングとして「いぶすきまるごと揚げ」を決定し、「うずらたまご天」と「いぶたま天」の2種類が完成した。特に「いぶたま天」は黒と白のツートンカラーでおなじみの「指宿のたまて箱号」をイメージして、黒ごまと白ごままで表現したもので、現在も「指宿のたまて箱号」の車内販売で取り扱っていただいている。

また同時に、「指商デパートのブランド化」を目指して、指商デパートのロゴも制作した。



【完成発表会】



【うずらたまご天・いぶたま天】



【制作したロゴ】

(5) 指宿商業高校×宮崎商業高校×小田口屋

指商デパートの代替行事として、「課題研究メモリアル販売実習」を行った。そこでICPとして、オリジナル商品を販売することにした。本校は「いぶたま天」を、宮崎は「チキン南蛮」味のさつまあげを販売した。



【商品ラベル】



【完成した商品の試食】



【販売の様子】

(6) 油津商店街における「商店街の活性化」についての勉強会

この前年からレシピの共同開発や、クラウドファンディングを一緒に行っている宮崎商業高校の

課題研究の生徒と共に、油津商店街にて交流を兼ねて「商店街の活性化」について学習をした。



【商店街で宮商と指商】



【昼食は宮崎商業考案の弁当】



【あまびえのスイーツ】

(7) 私たちの想いを夜空に！

「3年間お世話になった指宿の街に、コロナ禍でも頑張っている皆さんに、お礼と感謝の気持ち、そして元気をあげたい！！」ということで花火を打ち上げた。

当日は、ICPの生徒・保護者と卒業生数名が集まり、間近で花火を見ることが出来た。5分間の花火大会ではあったが、生徒たちの想いが十分に伝わったのではないかと確信している。



【告知用ポスター】



【打ち上げ風景】

(8) 指宿商業高校×宮崎商業高校×ファミリーマート「紫芋と日向夏のサンドロール」

本校では毎年南九州ファミリーマートと商品開発を行っていたが、今回初めての試みとして、宮崎商業と企画立案まで一緒に商品を開発した。鹿児島と宮崎の良さを互いに生かせるような商品を目指したが、開発は難航を極めた。



【ファミリーマートからの提案書】



【完成した商品】

(9) 宮崎商業高校・宮崎大学との交流会

宮崎大学の谷田貝ゼミとは、宮崎商業が商品開発を行う際に共同で取り組みを行っていたため、本校も交流会に参加することになった。今回は、屋外でワークショップを実施することになり宮崎市青島にある「こどものくに」を会場とした。グループごとに散策しながら好きな場所をきめ、「若者の感性を生かした斬新な弁当を開発しよう」というテーマのもとワークショップを行い、グループごとにスキットによる発表を行い、投票を行った。



【ワークショップの様子】



【スキットの様子】

(10) 指宿商業高校×鹿児島大学 共同企画観光動画「鹿児島ループ」

鹿児島や指宿の魅力を県外に広め、さらに県内の方たちには地元の魅力を再発見してもらうことを目的に、動画を撮影しYouTubeにアップすることにした。曲はYouTuberの「りりりちゃん」からの指定で「惑星ループ」を使用することになった。

また、この年の全国高等学校観高（かんこう）サミットで、この動画を含めた発表をし、全国3位の成績を収めた。



【砂むし会館 砂楽での撮影風景】



【フラワーパークでの撮影風景】



【YouTube「鹿児島ループ」】

(11) 指宿商業高校×日本航空「スカイスクール」事業参加

鹿児島空港で「お茶のおもてなし」と合わせて販売活動を行うことになり、日本航空からの提案で、「ふるさと応援隊によるマナー講座」も同時に実施することになった。しかし感染者数の増加に伴って、おもてなしと販売活動は中止。「ふるさと応援隊によるマナー講座」のみを実施した。ふるさと応援隊のキャビンアテンダント2名によるマナー講座は、丁寧でわかりやすく生徒たちも真剣に受講していた。



【スカイスクールの様子】



【講師の方と集合写真】

(12) インスタグラムの開設

指宿駅でのおもてなしと同時進行で行ったのが指宿駅周辺を高校生の視点で紹介するインスタグラムの開設と取材・投稿である。いぶたまのダイヤの合間で取材をして指宿駅周辺の活性化に貢献できるよう、定期的に更新した結果、1年で350を超えるフォロワーを獲得した。現在もページを引き継いで指宿の観光スポットを紹介している。



(13) 南九州茶業組合によるお茶の煎れ方講座

お茶の提供を再開できたのは良かったが、お茶についての知識は全くと言って良いほど皆無であり、茶葉の量や抽出温度など、一度専門家に教えていただく機会を作って、乗車してのおもてなしや、福岡のイベントでのおもてなしに生かせるよう、南九州茶業組合にご協力いただき、本格的なお茶の抽出方法を学んだ。



【お茶の煎れ方講座の様子】

(14) 指宿のたまたま箱号に乗車してのおもてなし活動

毎年七夕の時期に浴衣を着用して、「いぶたま」に乗車してのおもてなしを行っている。同時に学校全体としてもおもてなしに参加したいという声が生徒会から上がり、全校生徒で学校前の線路を通過する「いぶたま」に手旗を振ろうというイベントを行った。ICPとしては冷茶の配布と同時に、かりんとうも配布し、袋にInstagramのQRコードを貼付し、登録を呼びかけた。



【指宿駅でのお出迎え】

【車内でのおもてなし】

【配布したかりんとう】

(15) 博多駅・門司港駅でのおもてなし活動

JR九州鹿児島支社が「いぶたま」を中心としたPRを展開し、それに合わせて、博多駅にておもてなしイベントや、博多～門司港間の臨時走行、自治体と連携した観光と物産展の販売やPR活動を行うことになり、指宿市観光課と指宿市観光協会が参加予定であったが、今年度から本校と指宿市観光協会が観光に関わる包括協定を締結した関係性もあり、本校も参加する事となった。博多駅での観光パンフレット等のノベルティの配布から、臨時走行の「いぶたま」に乗車してお茶の配布など2日間にわたって指宿市のPRに努めた。



【博多駅構内とホーム、いぶたま車内で指宿市の観光ノベルティ配布】

(16) 秋のさつままつり2022 (大阪)

大阪にて初めて開催された「秋のさつままつり」に出店した。スイーツについては、大阪のカフ

エの協力をいただき、鹿児島産のお茶を使ったスイーツの企画・提案を元に製造を依頼し、当日はキッチンカーの中で生徒自身が盛り付けなどの仕上げを行いながら販売した。初めてのイベントで手探りで参加となったが、当日は天候にも恵まれ好調に売り上げを伸ばすことができた。



【実際に販売したスイーツとPOP】



【現地での取材】

V まとめ ～課題研究の評価～

これまでに紹介した「株式会社の運営」「指商デパート」「ICP」については「課題研究」の授業の一環として取り組ませている。そこで今後課題になってくるのが観点別評価の導入についてである。

以下は本校が、今後の課題研究の評価基準について検討している内容であり、各校での導入の参考になれば幸いである。

課題研究は生徒が主体的に取り組む活動である。活動に対して評価をつけることは非常に難しいが、評価を付けるとなると、評価の対象は、事例研究のレポート、ポスターなどの製作物、研究に対する取組姿勢や発表態度などになる。これらは、目に見えるものなので評価はしやすく、従来の教科指導の中でも行われてきたことと同じである。しかし、商業科における課題研究の目的の一つが「答えのない課題に対して主体的に粘り強く取り組む力を身につけさせる」ことにあると考えると、その「課題解決能力」がどの程度ついているのかが評価の対象となる。だが、課題研究における「課題解決能力」は、目に見えるものではないので、簡単には評価することはできない。ましてや、1日だけの活動から評価できるものではない。継続的な教育活動の結果により、はじめて評価できるものである。

継続的な教育活動を行っていくには、生徒に自身に課題研究の目標を定めさせ、それに向けて取り組ませることが大切である。また、課題研究は、あくまでも生徒主体的な活動なので、極力、教師の指導は避けたいものである。しかし、自らの力で課題研究をスタートすることができる生徒はそれほど多くないのも事実である。その一方で、教員は、継続的な教育活動を通して生徒が自らの力で着実に階段を昇るように「課題解決能力」を身につけさせていかななくてはならない。

そこで、課題研究型・ルーブリックを用いた評価を有効に使えるかを考えた。ルーブリックは、具体的な学習目標を示す観点（評価規準）と学習目標の到達度を数レベルで示す尺度およびそれぞれの特徴を示す記述語で構成され、それらをマトリクス形式（行と列）で表した評価基準表である。通常、ルーブリックは、発表やレポートといった結果を評価するときに活用すると思うが、今回、課題研究型のルーブリックを用いながら目標に向かっていく指標を示したものと考えたらどうだろうか。生徒はルーブリックでつくられた評価規準を見て、現在の自分の位置を把握し、そして、ルーブリックで示された最高の評価を目指していかせてみたらどうだろうか。

ここで、注意したいのは、課題研究型のルーブリックを作成していくときの方法だが、教員が作成して、ここまでやれば、こうした評価になるとすればいいのだが、これでは、教師の枠の中での活動になり、生徒の主体性は育たず、生徒が自ら研究したという自己達成感も味わえない。では、生徒自身にルーブリックを作成させたらいいのではないかという考えもあるが、生徒自身に作成させると、低く目標を設定したり、課題研究にあてる時間や学校の設備を無視した非現実的な目標になってしまうおそれが

ある。

そこで、課題研究型・ルーブリックを作成する時、生徒と教員の協働によって作成したらどうだろうか。協働をすることで、教員は、生徒の研究に対する思いをくみ取ることができる。その思いをもとにして生徒にアドバイスをし、生徒とともに課題研究を通して自らが成長していくような課題研究型・ルーブリックを作成してみたらどうだろうか。

なお、課題研究をグループで取り組む場合、対話による課題研究型・ルーブリックは、より効果が高まる。教師との対話の前に、生徒にグループ協議（ブレインストーミング）を通して、グループのルーブリックを作成させることで、「一つの目標に対して協働で挑む」という協働性を身に付けさせることが可能となる。グループで作成したルーブリックを教師との対話の中で改善していけば、課題研究型・ルーブリックは多くの人の発想や可能性などが秘められた広がりをもったものなる。

さらに、ルーブリックを通して生徒の成長を促すために、ルーブリックそのものの改善を考えてみた。ルーブリックは先ほども述べたように、具体的な学習目標を示す観点（評価規準）と学習目標の到達度を数レベルで示された非常に優れたものであるが、しかし、学習目標の到達度を示すことは、答えのない課題に取り組んでいく課題探究には十分にはなじまない。というのも、答えのない課題に対する到達度などそもそもが存在するのだろうか。

また、研究は枠にとらわれるものではないし、何が発見されるかは分からない。とてつもない発見をする可能性だってある。このことを考えると、従来の「A」という最高の評価の上に、「S」という未知の可能性を示した評価基準をつくり、その「S」に対しての評価規準は、あえて示さない課題研究型・ルーブリックを作ってみたらどうだろうか。最高の評価の上に、さらに高い評価が存在し、その評価規準はない。

まさに、課題研究の主旨にあうと提案と考える。しかし、研究によって新たな発見・成果が表れるというのは非常に難しく、現実的に「S」に達する生徒は少ないと思われる。

だが、課題研究の目的は、研究の成果よりも、自らが見つけた課題の解決に対して自らが取り組んでいく姿勢ではないかと思う。「S」を目指して努力すれば、通常評価の「A」は達成でき、生徒は確実に成長していく。また、「S」の評価をつけることができる生徒が現れた場合は、教員にとっても非常に有益で、次に教員が生徒と対話をしてルーブリックを作成するのときに、「A」の評価規準の参考になる。

「A」の評価規準のレベルが上がれば、その学校の課題研究の質は向上していくのではなかろうか。このことを踏まえて、下に本校が現在行っている「課題研究」を参考に課題研究型・ルーブリックを作成してみた（表4）。なお、この課題研究型・ルーブリックは生徒との対話によって作られたものではなく、試行的なものであり、従来の観点別評価の考え方（表1～表3）とも併記する。

課題研究・観点ごとの総括表実践例 【表1】

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
シーズン1	A (5)	A (5)	B (3)
シーズン2	B (3)	B (3)	S (6)
シーズン3	B (3)	B (3)	A (5)
シーズン4	A (5)	C (1)	A (5)
●学期 (平均値)	B (3)	B (3)	A (4.75) ※四捨五入して評価

注) 1. 縦項目は、(1) 調査, 研究, 実験→ (例) 指商デパート総務部・営業部・広報部
株式会社指商総括事業本部, I C P

(2) 作品制作

(3) 産業現場等における実習→ (例) コンソーシアム事業班

(4) 職業資格の取得

に区分し、課題研究のため、シーズン（時期）ごととした。

2. 3観点については、学校の実態に合わせ、評価の重みも変更可能。

この実践例では、絶対評価を前提にSを導入している。

3. S→6点以上 A→5点 B→3点 C→1点

合計点数からの5段階評価換算表例 【表2】

点数	評価
15～	5
11～14	4
7～10	3
4～6	2
0～3	1

観点別評価の点数イメージ例 【表3】

観点別評価例	合計点数	評価
SSS	18	5
AAA	15	5
AAB	13	4
ABB	11	4
ABC	9	3
BBB	9	3
BBC	7	3
BCC	5	2
CCC	3	1

課題研究型・5段階ルーブリック例 【表4】

	D (1)	C (2)	B (3)	A (4)	S (5)
テーマ設定	テーマ設定の背景や動機が述べられていない	テーマ設定の背景や動機があまりはつきりしない	テーマ設定の背景や動機が明確に述べられている	テーマ設定の背景や動機が詳しく明確に述べられている	先行研究的なテーマ設定である
研究目的	研究に対する目的がない	研究に対する目的がはつきりしない	研究に対する目的が明確である	研究の位置付けがなされており、目的が明確である	先行研究となる研究目的である。
基礎知識	研究に関わる知識が身に付いていない	研究に関わる知識が不十分である	研究に関わる知識が身に付いているが、研究に活かされていない	研究に関わる知識が身に付いており、研究に活かされている	先行研究にかかわる知識が身についている
仮説	仮説が示されていない	仮説があまりはつきりしていない	仮説が示されているが、研究目的との関連がはつきりしない	研究目的をふまえて、仮説が明確に示されている	仮説を立証できる力がついている
発表会準備	ポスター、パワポ、資料などの準備がされていない	ポスター、パワポ、資料などの準備が不十分である	ポスター、パワポ、資料などの準備が整っている	グループでの分担がしっかりとされており、ポスター、パワポ、資料などの準備が整っている	外部にも発表できる先事例的な斬新なスケールをもちあわせている



指宿市立指宿商業高等学校

変わるこの世に変わらぬ伝統

IBUSHOから輝く
笑顔と感謝をおもてなしにかえて

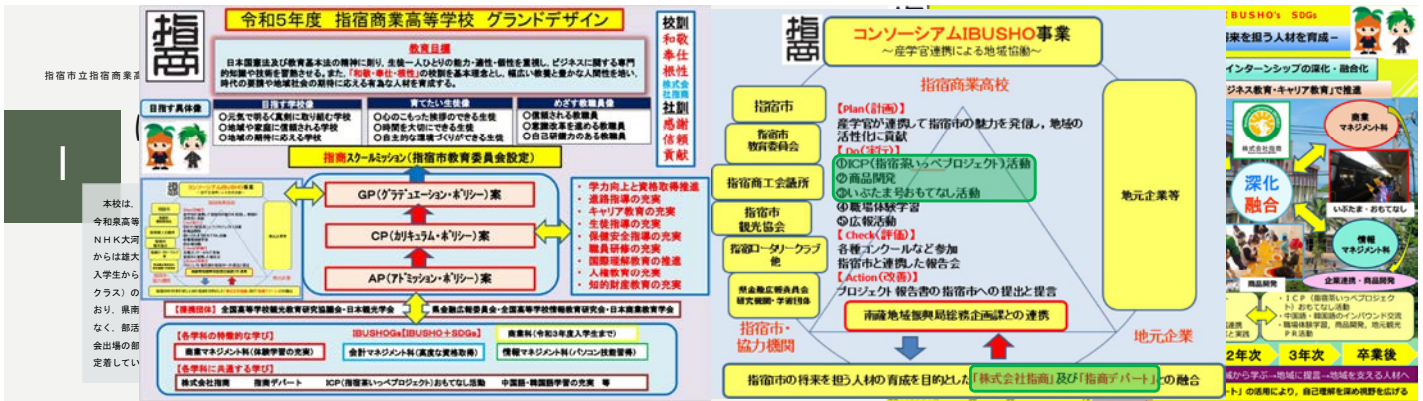
～コロナ禍での株式会社運営やおもてなし活動等の取り組みの紹介～

I はじめに

- 1 学校概要
- 2 コンソーシアムIBUSHOの構築
- II 『株式会社 指商』の運営
 - 1 高校生株式会社の設立の経緯
 - 2 第11期(令和4年度)の主な活動実績

III 指商デパート

- 1 指商デパートの概要
- 2 組織図
- 3 各店舗の業務
- 4 抽選賞品の提供依頼企業一覧
- 5 事前指導資料
- IV ICP(指商茶いっぺプロジェクト)活動
 - 1 コロナ場での取り組み
 - V まとめ ～課題研究の評価～



1 高校生株式会社の設立の経緯

指宿商業高等学校における実践型ビジネス教育の展開
（株式会社 指商）の経緯

（1）設立の手順の柱

- ① 会社設立のフレーム
社名及び設立目的の設定（公認会計士等）
対象生徒へのプレゼン（概要説明）
P.T.A（出資金）、同窓会（支援体制構築）
↓
- ② 定款の作成
公証人役場において定款認証
（司法書士からの指導）
↓
- ③ 設立登記
設立登記申請書類を法務局へ提出
↓
- ④ 校内での組織化

(3) アロハジャツオーダーメイドのお店
「HOU'OLI」とのコラボ企画



イベントでマスクを贈呈



「いぶたま号」乗客の方にマスクの配布

令和2年6月19日

(4) そうしん（鹿児島相互信用金庫）
アグリハイスクール支援プログラム



完成発表会

地元指宿のさつまあげ「小田口屋」と商品開発をおこなった。



うずらたまご天・いぶたま天

いぶたま天については、現在「指宿のなまて箱号」の車内にて販売中である。（600円）

令和2年11月11日

(4) そうしん（鹿児島相互信用金庫）
アグリハイスクール支援プログラム



展示・販売用グッズ



ブランドロゴ



各種メディア取材

令和2年11月11日

J R九州× 指商× 宮商 共同企画
「観光列車 海幸山幸でいく 幸せの旅in指宿」



(5) 指宿商業高校× 宮崎商業高校× 小田口屋



オリジナル商品のラベル

指宿は「指宿のなまて箱号」をイメージしたさつまあげを、宮崎は「チキン南蛮」味のさつまあげを、定番の人気商品をセットにした。

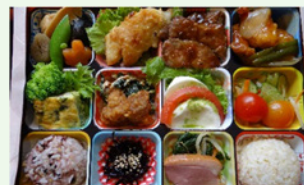


販売の様子

指商デパートの代行行事として「課題研究メモリアル販売実習」を実施した。商品の引も渡しは感染症対策のため、ドライブスルー方式。

令和2年11月3日

(6) 油津商店街における
「商店街の活性化」についての勉強会



宮崎商業高校生が考案したお弁当



あまびえのスイーツ

令和2年12月10日

(7) 私たちの想いを夜空に！



告知用ポスター



打ち上げ風景

令和3年3月1日

(8) 指宿商業高校×宮崎商業高校×ファミリーマート
「紫芋と日向夏のサンドロール」



ファミリーマートからの提案書



オンラインでのプレゼン会議

令和3年10月30日発売

(8) 指宿商業高校×宮崎商業高校×ファミリーマート
「紫芋と日向夏のサンドロール」



完成した紫芋と日向夏のサンドロール



令和3年10月30日発売

(9) 宮崎商業高校・宮崎大学との交流会



ワークショップの様子

グループごとに発表しながら好きな場所をきめ、「若者の感性を生かした斬新な弁当を開発しよう」というテーマでワークショップをしました。



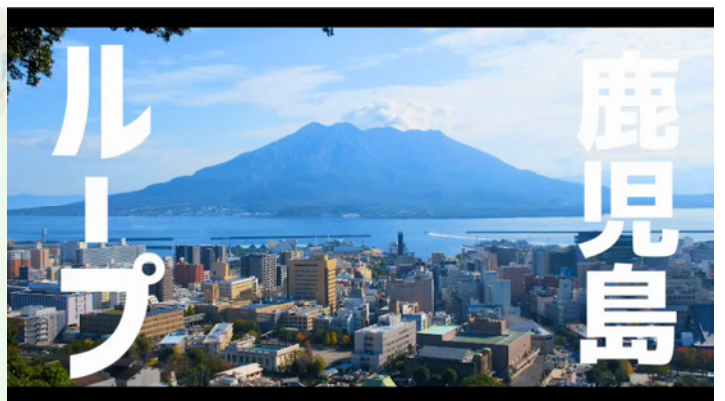
スキットの様子

ワークショップで話し合った弁当を、シチュエーションも交えながら、グループごとにスキットによる発表を行い、投票を行った。

令和3年10月29日



令和3年12月10日公開



(11) 指宿商業高校×日本航空「スカイスクール」



スカイスクールの様子

お茶のおもてなしや販売会は実施できなかったが、「ふるさと応援隊によるマナー講座」のみを実施



講師の方と集合写真

講師は、ふるさと応援隊のキャビンアテンダント2名

令和4年1月14日

(12) インスタグラムの開設



取材風景

指宿駅でのおもてなしの合間で、自分たちでポイントをとって取材をおこなう。



実際のページ

開設から1年が経過し、フォロワーも500人を超えたとって取材をおこなう。今後は1000人を目標に継続していく。

令和4年4月～

(13) 南九州茶業組合によるお茶の煎れ方講座



茶業課の方による講座

おいしいお茶の淹れ方を、抽出温度などを中心に講座をしていただいた。



お茶の煎れ方の実際

当日は知覧茶の新茶を持ってきていただいで、色々な抽出方法で飲み比べをおこなった。

令和4年6月24日

(14) 指宿のたまたま箱号に乗車してのおもてなし活動



指宿駅でのお出迎え

毎年7月には七夕の時期に合わせて浴衣を着ておもてなしをおこなうのが恒例となっている。



指宿のたまたま箱号の車内でのおもてなし

車内では冷茶のおもてなしと、かりんとうの試食配布や「いよたま天」の販促を行った。

令和4年7月8日(令和5年7月7日)

(15) 博多駅・門司港駅でのおもてなし活動



博多駅構内にてノベルティの配付

観光協会のパンフレットやお土産を、観光大使の方と一緒に配布した。



車内でのおもてなし

記念品の配付や、「いよたま天」の販促、記念写真の撮影など、博多駅～門司港駅間でおもてなしをおこなった。

令和4年7月23日～24日

(16) 秋のさつまつり2022(大阪)



「秋のさつまつり」での販売

大阪のてんしば公園にて初開催された「秋のさつまつり」に出店。当日はキッチンカーの中で生徒自身が盛り付けなどの仕上げを行いながら販売した。



試作品

スイーツについては、大阪のカフェの協力をいただき、鹿児島産のお茶を使ったスイーツの企画・提案を元に製造を依頼した。

令和4年11月18日～20日

今年度の新たな取り組み



指宿白水館にて新茶の振る舞い

知覧茶で有名な南九州市茶業課の協力をいただき、地元の宿泊施設でもてなしをおこなった。改めて地域への貢献を意識する機会となり、夏休みには宿泊体験も実施予定である。



指宿市立指宿商業高等学校

V まとめ

これまでに紹介した
「株式会社の運営」
「指商デパート」
「ICP」

については「課題研究」の授業の一環として取り組ませている。そこで今後課題になってくるのが観点別評価の導入についてである。



【学校ホームページ】



【YouTube「鹿児島ループ」】



【ICPのInstagram】



【1分動画】

ご清聴
ありがとうございました

指宿市立指宿商業高等学校

令和5年度 株式会社指商（活動報告）



第12期事業活動報告

株式会社指商 担当 福永 博志

1. 入学式販売業務・・・4月7日（木）

入学式終了後、新入生・保護者に emifull×指商の「豆腐ドーナツ」を販売しました。新入生および保護者のみなさまたくさんのお買い上げ、ありがとうございました。



2. 統括事業本部役員選考面接会・・・4月26日（水）

株式会社指商の中心となって、企画・運営する1年生・2年生の役員選考会を実施しました。意気込みや熱意を知るため、作文・面接による審議の結果第12期統括事業本部役員が3年生10名（3月に決定済み）、2年生10名、1年生5名の計25名が新役員として選考され、組織されました。

3. 和田中学校マナー講習・・・4月27日（木）

山形屋販売実習に向けてマナー講座を受講している本校に、和田中学校よりマナー講習会を開講してほしいと依頼がありました。プレゼン能力などの力をつける機会として取り組みました。



4. PTA総会販売業務・・・5月19日（金）

PTA総会での販売業務。3年生の統括事業本部役員を中心にドーナツなど地元特産物を販売させていただきました。大盛況でした。



5. 第12期取締役会・株主総会・・・5月23日（火）

〔取締役会〕

取締役会では、取締役等の紹介、第12期統括事業本部役員紹介、役員の重任申請の件、株式譲渡第11期活動報告・決算報告、第12期活動計画案等を報告。販売実習で売り上げた個数を参考に次年度の販売拡大につなげてほしいなどの意見を頂きました。また、日当や交通費についてのご意見もいただきました。



〔株主総会〕

株主総会には2年生・3年生が出席しました。統括事業本部役員として活動計画・決算報告などを提案しました。質問も受けて活発な総会になりました。



6. 納税・・・5月31日（水）

第11期の国税・法人県民税等・法人市民税等の納税を行いました。昨年度まではコロナ禍ではありましたが、販売の機会も少しずつ増えたため、売上が増えたことで納税額も増えました。

指宿市役所税務課での納税になります。

指宿市広報誌の記事にも取り上げていただきました。



7. センテラス天文館販売（天文館夏祭り）・・・7月14日（金）～16日（日）

1学期に販売実習体験ができる機会を今年度は、企画イベント会社より紹介していただきセンテラス天文館での夏祭りに参加させていただきました。はじめての天文館ということもあり商品の選定がとても難しく、課題研究でしっかり話し合い準備しました。山形屋販売に向け課題や改善点などたくさんの発見がありました。

集客率がとても高く、売上は順調でした。



8. 山形屋販売実習前講習会・・・8月1日（火）

山形屋販売実習前の講習会です。山形屋のトレーニング担当者より実践的な指導を受けました。接客の仕方ひとつにしても、大きく違うところもあり、今後の私たちの販売実習に活かしていきたいと思いました。とても貴重な体験となりました。



9. 全国総合文化祭での販売（囲碁・将棋）・・・7月31日（月）・8月3日（木）

今年、鹿児島県で全国総合文化祭が開催されました。

地元指宿では、7月31日囲碁部門・8月3日将棋部門が開催され販売実習行ないました。

指宿のPRも含めて特産品をPRできました。リピーターが増えるように指宿のパフレットなども配布しました。



10. 株式会社山形屋での販売業務・・・8月19日(土)・20日(日)

山形屋での販売業務を8月末に開催しました。センテラス天文館での課題や改善点を考えながらの実習になりましたが、多くのお客様にご来場いただき大成功となりました。

取扱商品や開催時期については、今後も検討していく必要があります。

塩田鹿児島県知事もご来店くださいました。



11. かがしま国体・障スポ大会での販売業務

今年度は延期されていた国体と障スポ大会が鹿児島県で開催されました。

メインテーマである“おもてなし”をモットーに活動している本校株式会社指商も、販売の機会をたくさんもらえました。

10月 7日(土): 開会式: 白波スタジアム

8日(日): ソフトボール競技会場: 開聞総合グラウンド

13日(金): バドミントン競技会場: 指宿市総合体育館 ~15日(日)まで

28日(土): 障スポ大会: 知覧平和公園 ~29日(日)まで



12. いぶすき秋まつりでの販売業務・・・11月5日(日)

4年ぶり開催のいぶすき秋まつりにも参加要請を受け、販売を行ないました。



13. 第33回指商デパート・・・11月23日(木)

株式会社指商最大の販売実習である、指商デパートが開催されました。今回は、ベグルM・E L s o l 8 7・emifullのスイーツから、中園久太郎商店や中原水産の商品も販売もさせてもらいました。また、鹿児島大学農学部のみ、野菜もあつかいました。人気店から仕入れたため、お客さまの行列ができ大成功に終わりました。また、初めてでしたが1年生・2年生の株式会社指商社員も体育館内店舗の手伝いをしました。



14. 金融教育：北指宿中学校租税教室・・・12月8日(金)

金融教育の一環として、税務署と市役所税務課よりサポート・アドバイスをもらいながらではありますが、中学2年生に授業を行ないました。4月のマナー講習会とは違い、納税についての授業は、かなり打ち合わせをしておきました。指商の紹介から、株指の紹介、納税の意義、グループワークと終わったあとは充実感がありました。



15. 南薩地区専門高校フェスタ・・・12月14日(木)

3年生にとっては、最後の販売実習でした。今年度は、本校が担当校として高校フェスタをなのはな館で開催しました。中学生を対象に販売をおこないました。売残ることも懸念されましたが売り切れが続出し、午後はまた別商品を仕入ということになりました。



16. 株主への配当について・・・12月19日（火）

4年ぶりに株主への配当をおこないました。今年度は総文祭や国体と販売実習の機会が多かったので、現物配当（剰余金の配当等またはみなし配当により株主等に金銭以外の資産を交付すること）をおこないました。三色蛍光ペンおよびケースになります。



17. 税に関する表彰・・・12月21日（木）

株式会社指商の活動として、金融教育の一環で行なった租税教室の出前授業や、1年生の商業マネジメント科の夏期課題として取り組んでいる税の作文への取り組みが評価され、税務署より表彰を受けました。



18. 年度報告会・・・2月21日（水） 卒業株主報告会・・・2月29日（木）

3年生統括本部役員の最後の業務。株指年度報告会を行ないます。販売実習ひとつをとっても、思ったようにできなかったことや予想以上に上手くいったことなどたくさんありました。また、今年度は県知事や市長をはじめ、たくさんのお会いがありました。一年間の活動内容を社長はじめ取締役・監査役そして株主のみなさまに報告いたします。

以上、1年間の活動実績報告になります。

第33回 指商デパート

営業部長 富田 潤

今年度で33回目を迎えた「指商デパート」。昨年は、「生徒・職員の家族及び知人」と「入場整理券のある指宿市民」に限定して開催し、入場希望者については、事前の名簿提出を求め、「入場許可証」のある者のみ入場を許可した。令和5年5月以降、新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類感染症に引き下げられたことを受け、会場内での感染予防対策を講じた上で、入場制限は設けずに開催することを決めた。



今年度は、これまで作り上げられてきた指商デパートの伝統とこれまでにない新たな取り組みを融合させた新たなスタートをお客様を迎えようと、「33年分の感謝を込めて 伝統と革新の二刀流 IBU 商 TIME 新時代の幕開け」というスローガンを掲げ、指宿市内を中心とした県内企業や8店舗のキッチンカー、ハンドメイド店舗に協力をもらい実施した。さらに、被災地復興支援として、北海道物産展や東北物産展を開催し、地元でしか味わえない魅力商品の販売やトヨタ車の試乗車展示と販売も行った。さらに、バルーンアートショーや指商デパートの目玉イベントである「大抽選会」を3年ぶりに実施し、多くの企業から豪華賞品の提供を受けた。県内各地で出店しているキッチンカーや大抽選会を目標てに来場される方も多く、一際賑わいを見せていた。会場内での飲食制限も行わなかったため、飲食物を片手に家族で談笑する姿が多く見られ、会場は笑顔で溢れていた。



そして、事前予約制による商品販売やキャッシュレス決済（PayPay）の導入など、こんな時だからこそ求められる新たな試みも2年前から始めている。当日の代金支払いによる PayPay の使用率は、総売上高の約11%であった。

今回の「指商デパート」は、3年ぶりの通常開催となり、これまでの取り組みを複合的に行ったため、例年よりも多くの準備に時間を要したが、課題研究「指商デパート」の3年生（16名）がその状況に危機感を持ちながら協力し合って作業を進め、無事に当日を迎えることができた。当日は天候にも恵まれ、約4,500人のお客様にご来場いただき、恒例の「指商デパート」として大盛況に終えることができた。地元企業をはじめ、多くの方々にご理解とご協力を頂き、無事に開催できたことを心より感謝している。



抽選賞品の提供依頼企業一覧

	協賛企業名	抽選賞品内容	備考
1	JTB九州 様	商品券(10,000円分)	1名様
2	池田湖パラダイス 様	お菓子の詰め合わせ	5名様
3	指宿海上ホテル 様	御食事券	1名様
4	指宿休暇村 様	指宿海鮮ランチ食事券(ペア)	2名様
5	指宿こころの湯 様	ペア入浴券	3名様
6	指宿シーサイドホテル 様	御食事招待券(ペア)	1名様
7	指宿白水館 様	ペア宿泊券(1泊2食付)、森伊蔵焼酎(720ml) オリジナル高級チョコレート(4,000円)	各1名様
8	指宿フェニックスホテル 様	お菓子セット	5名様
9	指宿ベイヒルズ 様	焼き菓子セット	10名様
10	指宿ロイヤルホテル 様	ギフト券10,000円分	1名様
11	秀水園 様	ギフト券10,000円分	1名様
12	信州庵 様	御食事券1,500円分	3名様
13	肉の上高原 様	鹿児島産純粋黒豚ロインしゃぶしゃぶ500g	5名様
14	花の温泉ホテル 吟松 様	砂むし会席ペア食事券	1名様
15	黒豚と郷土料理 青葉 様	御食事券2,000円分	5名様
16	家族温泉 野の香 様	家族湯平日入浴券	5名様
17	古民家で昼ごはん梅里	特選お米5キロ	2名様
18	えぶろんはうす池田 様	御食事券	5名様
19	松木 様	ミニトマト詰め合わせ	5名様
20	指商同窓会	いぶすき共通商品券5,000円	2名様
21	今和泉郵便局	年賀ハガキセット	5名様
22	山栄水産	養殖カンパチ生食用半身1.3kg(真空パック)	2名様

協力店舗等一覧

担当クラス	企業・店舗名	販売内容	担当クラス	企業・店舗名	販売内容
3年1組	株式会社横村青果	野菜・果物・花	1年5組	海上ホテル	特選カレー
	松木秀人	花弁(スプレー菊)	1年2組	有限会社 池田興産	おにぎり
	ジュエソ	胡蝶蘭		指商購買部	ドリンク
3年2組	カミチクグループ	食肉関係	1年3組	バルーンアーティスト瞳	バルーン作成
	株式会社唐船峡食品	<small>かんりんとう・手チップス・ドレッシング等</small>	丸新玩具(与次郎)	<small>くじ・ヨーヨー・釣り・ストラップアットなど</small>	
	山崎菓子店	指商まんじゅう・その他菓子類	1年4組	鹿児島ラーメン 宝島	ラーメン
3年3組	お茶の鉄可園	茶葉販売	1年1組	有限会社 山崎パン	パン(数種類)
	有限会社まるや食品	かんだんご・かるかん		菓子工房フィオーレ	<small>小判型キーズケーキ&ショコラケーキ</small>
	★社会福祉法人 更生会 障害者支援施設 慈生園	シュークリーム・ジャム等	2年1組	くつぎ処 なんつあならん	唐揚げ・コロッケ・焼き鳥
3年4組	社会福祉法人 正和会 障害者支援施設 サポートなごみ	ドーナツ・ラスク等	2年4組	ファミリー居酒屋 タカ	フライボテ・タコ焼き・焼きそばにぎり
	吉鶴農園	出水みかん	2年5組	森の洋食家 花咲かG	和製オムライス
	株式会社大山	韓国物産		hitasura kitchen	奄美鶏飯・ホワイトカレー
株式会社ほくみん	北海道物産	ALWAYS CAFÉ 2nd		ハンバーガー	
東北各5社	東北物産	OZE TAIYAKI		たい焼き・湧水茶	
JALいぶすぎ観葉センター	観葉植物	café glycine		クレープ	
2年2組	株式会社竹之下	食料品(駄菓子等)		jahkebab	ケバブサンド
	地元農家	米	nanairokitchen	タコライス	
	EL SOL 87	サンドウィッチ	lovery/楽歩里	<small>全菓コック/メチカント/スプダグ/フランクフルト</small>	
株指	永谷豆腐店	豆腐	2年3組	ファミリー居酒屋 タカ	焼きそば・回転焼き・しんご団子
	中園久太郎商店	漬物		地元農家	焼き芋
ICP	さつま揚げの小田口屋	さつま揚げ	鹿児島トヨペット	自動車	
	鹿児島大学農学部	白米・黒米・甘藷・温州みかん	赤猫とベル	オリジナル弁当	
館内店舗	高校・大学関連機関		食物バザー	nourin	布製作
				Kaeru商店	帆布バッグ・小物
				アトリエ waka	クッキー
				Like baby&kids select shop	<small>海外子供服・雑貨・ハンドメイドアクセサリー</small>

令和5年度 生徒商業研究発表大会
もゆいえごでん感動プロジェクト
～笑顔で楽しく 人の和をつくり 人の心をつなぐ～

(指導者) 向井良人・春松健一郎

本年度は上記のテーマで研究発表に取り組みました。研究発表の概要を以下に示す。

1 はじめに

指宿商業高等学校は、創立75年の歴史の中でたくさんの活動をしてきました。令和4年度には、地域、企業と連携し指宿商業高校を核とした地域創生を目指す取り組み「コンソーシアムIBUSHO」事業をスタートしました。

昨年度、「コンソーシアムIBUSHO」事業の取り組みを、学校に来校された指宿市教育委員会の方々の前で発表しました。その際、指宿市教育長に大変感動して頂き、「ぜひ指宿市役所でも発表してほしい」というお言葉を頂き、指宿市役所でも発表しました。

発表後は、高い評価を頂き、今後も協力して地域を盛り上げてほしいという感想を頂きました。その中で、来年度開催される国民大会に向けての協力を依頼されました。指宿市は、南薩地区の四市協同を目標に掲げており、指宿市だけでなく南薩地区で開催される種目を盛り上げる為の取り組みをしています。



2 仮説

燃ゆる感動かごしま国体は、51年ぶりの鹿児島開催、コロナウイルスによる国体史上初の延期、さらに、「国民体育大会」という名称では最後の大会であり、色々な意味で貴重な大会です。指宿市は「節約」を市全体で呼びかけており、この国民体育大会も「簡素効率」を念頭に実施するよう取り組んでいます。私たちは、お金をかけて大会を盛り上げるのではなく、高校生のアイデアで大会を盛り上げ、大会関係者や地域の方々に喜んでもらいたいと考えました。

課題①～協賛企業の増加とボランティア従事者の増員～ かごしま国体に向けて、企業協賛やボランティア希望者が多く必要ということでしたが、協賛が決まっている企業は数社で、ボランティア希望者も少ない状況にありました。

課題②～国体選手、関係者の満足～ 鹿児島を訪れる国体選手・関係者の方々に気持ちよく競技してもらうことはもちろん、滞在期間中に観光資源豊富な指宿・南薩地区の良さを

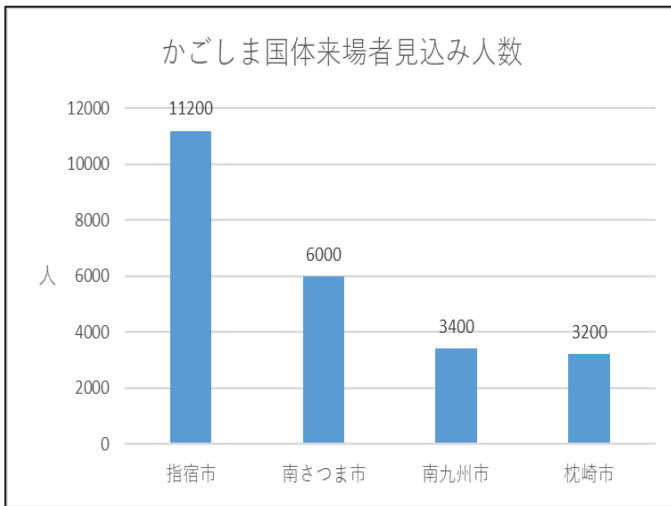
たくさんの方に知ってもらいたいという思いがあります。大会に満足してもらい、指宿・南薩地区の魅力に気づいてもらい、また来たいと思ってもらいたいと考えています。

課題③～四市協同～ 国民体育大会に向けて南薩地区の四市は、定期的に情報交換会を実施しており、この大会を機に今後も南薩地区四市の協力体制をつくっていきたいと考えています。指宿の魅力発信、南薩地区の仲間の魅力発信を目標に掲げています。

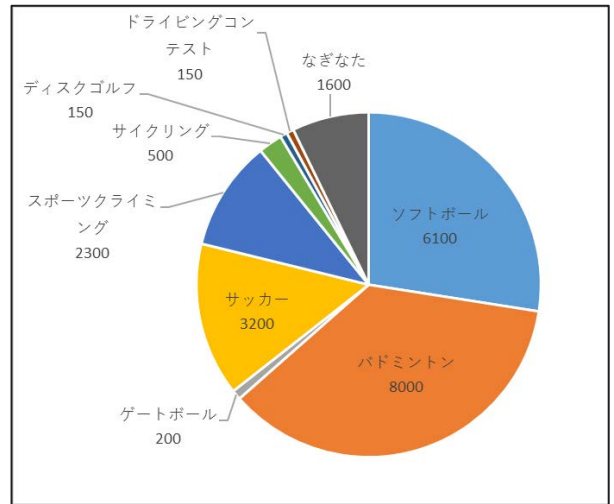
【栃木国体における大田原市の企業協賛例】
 協賛企業数：14社
 協賛評価額：¥3,609,10-
 協賛内容：物品のみ（現金不可）
 謝礼等：10万円以上で感謝状
 10万以下は礼状

【2022年10月時点の指宿市の状況】
 協賛企業数：2社
 個人協賛：1名
【指宿市の企業協賛の目標】
 協賛企業：20社目標
 協賛評価額：¥4,000,000-

南薩四市における来場者見込み人数



南薩四市の各種目における見込み人数



国民体育大会を成功させるために

- ・どうすれば協力者は増えるのか？
- ・どうすれば選手、関係者は満足してくれるのか？
- ・どうすれば皆が一つになれるのか？



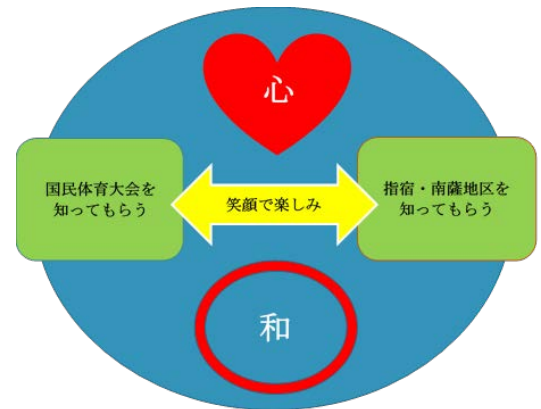
指宿市国体推進係の方々と議論を重ね、その結果、一つの共通点が見えました。それは、私たちは国体について「知らない」ということです。「国民体育大会を知らない」「競技のルールも選手も知らない」「競技される環境(指宿・南薩)の事も知らない」

アンケート調査

地域の方々が、どれくらい国民体育大会を知っているか把握する為に、指宿市民100人にアンケート調査を実施しました。アンケート結果は、指宿市で国民体育大会が実施されることは知っていても、その実施される種目については知らないという回答が多くありました。私たちは、指宿・南薩地区の方々に「国民体育大会」を知ってもらおう。指宿・南

薩地区を訪れる選手，関係者に「指宿・南薩地区」を知ってもらう。その双方の「知ること」が大切ではないかと考え，テーマが決まりました。

～テーマ～
 知ること 知らせること 伝えること 伝わること



【仮説】
 指宿・南薩地区の方々に『国民体育大会』を知ってもらう
 国体選手，関係者に『指宿・南薩地区』を知ってもらう
 双方が『知ること』により『笑顔で楽しみ』になる
 理解者，協力者が増え選手，関係者の満足につながる

3 企画・実践

仮設の柱である，「笑顔で楽しく」を大切に，国民体育大会を成功させる為のプロジェクトを立ち上げました。

- 『もゆいえごでん感動プロジェクト』
- もっと笑顔で！ 結いの心で！ ○エールを送る！
 - ゴール目指してかけぬけろ！ ○伝統と新たなおもてなし！

～コンセプト～
 「燃ゆる感動」にちなんで
 「鹿児島弁」をつかって
 「笑顔で楽しく」じゃなきゃ面白くない



「もゆいえごでん感動プロジェクト」の実践を2本の柱で計画を立て実践しました。

- ①「国民体育大会」を知ってもらうために
 ポスター制作→大会マップの作成→企業訪問→Instagramでの紹介



②「指宿・南薩地区」を知ってもらうために

観光マップ作成→インスタグラムでの配信→案内用紙の折込依頼→おもてなし活動



4 検証

検証1 指宿・南薩地区の方々に「国民体育大会」を知ってもらえたか？

・指商デパートの企業協賛、ボランティア案内のポスターを見ての問い合わせ

問い合わせ件数 17件

・企業協賛、ボランティア希望者の増加

プロジェクト開始前の

企業協賛数(2022年10月)

2社



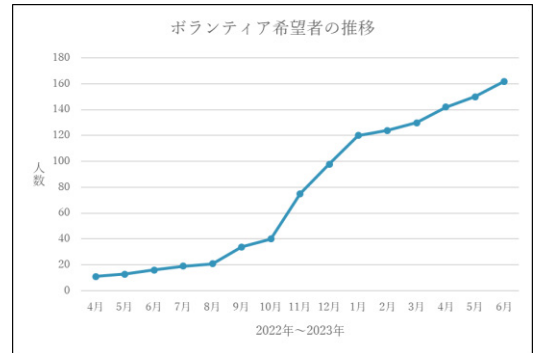
プロジェクト開始後の

企業協賛数(2023年6月)

8社

協賛内容

- 【広報啓発物品】うちわ、ステッカー、バッグ
- 【市民運動物品】軍手、応援のぼり旗、油性ペン
- 【歓迎装飾物品】歓迎のぼり旗、看板、横断幕
- 【開催運営物品】パソコン、プリンター、自転車



・指宿市国体関係者へのアンケート

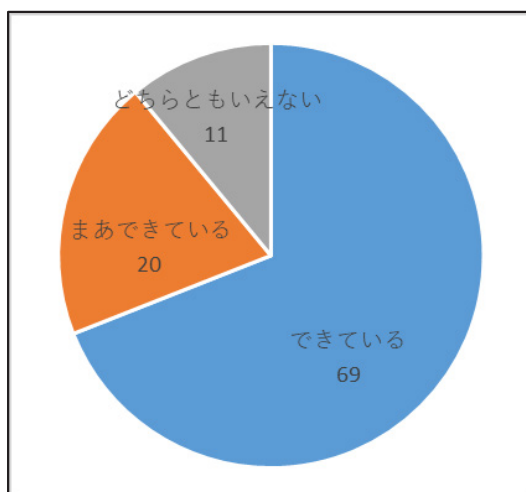
指宿市国体関係者へアンケートをお願いして、プロジェクト開始前と開始後ではどのように変化があったか、企業や指宿市民の反応はどうだったかなどを質問しました。意見の中に「**確実に変化があり、前向きに国民体育大会に向けて進んでいる**」というものがあり、私たちは、このプロジェクトの効果を確かな手応えとして実感しました。

アンケート内容（一部）

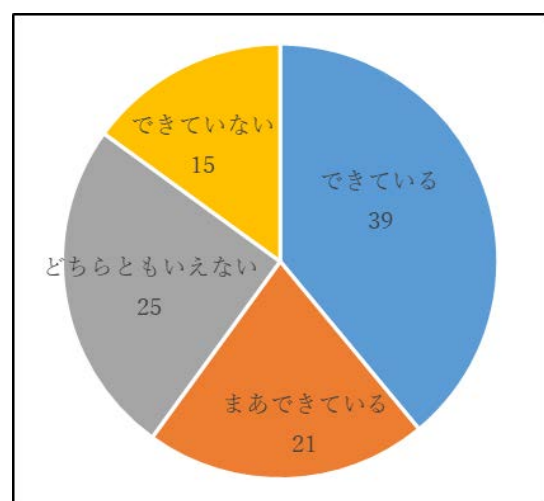
- ・指宿商業高校の取り組みは、かごしま国体に向けて貢献できていますか？
- ・企業協賛の案内について、周知できていると思いますか？
- ・ボランティア募集について、指宿商業高校の取り組みは貢献できていますか？
- ・指宿市民は、「かごしま国体」に興味をもつようになったと思いますか？
- ・指宿市民は、「かごしま国体」の南薩地区における種目、開催場所、期日を知ることができたと思いますか？
- ・プロジェクトに関して、ご意見ご質問をよろしくお願いします。

～アンケート結果（一部）～

かごしま国体に向けて貢献できているか？



種目、開催場所、期日を知ることができているか？



プロジェクトに関しての意見（一部）

- ・確実に変化があり、前向きに国民体育大会に向けて進んでいる。
- ・高校生の取り組みで協賛企業が増えたのにはビックリした。
- ・高校生の頑張りを見て私たちも頑張ろうと思えた。
- ・10月のかごしま国体を成功させるために、これからも協力して頑張りましょう。
- ・指宿市、指宿商業高校、地域とのつながりを感じている。これからもよろしくお願いします。
- ・制作したマップなど発信方法が課題になってくると思います。頑張りましょう。

① 「えごでんプロジェクト」による成果

私たちの企業協賛の活動により、2社が企業協賛の希望を示してくれました。1社でも企業協賛することが難しい状況なので、大きな成果といえます。

ハーティスポーツ様からのぼり旗10本協賛（¥28,000相当）

瀬戸茶生産組合 kaoru 園様から茶葉協賛（¥30,000相当）

検証2 国体選手、関係者の方々に「指宿・南薩地区」を知ってもらえたか？

・指宿市観光協会の下拂岳人さんからのアドバイス

国体選手、関係者に「指宿・南薩地区」を知ってもらう為に、観光マップの制作、Instagramでの配信、そしてコンソーシアム IBUSHO や ICP による「おもてなし活動」など、たくさんの活動を実践してきました。しかし、観光マップやInstagramの案内を折り込みする資料は8月以降の送付になります。その為に、実践の検証はできない状況にありました。実践した取り組みを、客観的視点で現時点の検証をできないか考え、指宿市観光協会の下拂岳人さんにアドバイスをいただきました。指宿市観光協会は、鹿児島県外のお客様に指宿市を知ってもらう為に様々な活動をしています。その経験から、このプロジェクトについての感想やご意見を頂きました。

下拂岳人様へのQ&A

Q プロジェクトの効果はあると思いますか？

A 高校生目線の地元ならではのことを書いているので効果は絶大だと思います。

Q マップの改善点などアドバイスをお願いします。

A 写真よりイラストを使用した方が良い。古い情報は載せない。知名度の高い店を地図に入れて目的の場所を見つけやすくする。パンフレット自体は小さめに。流行を取り入れる



下拂さんのお話はとても興味深く面白いものばかりでした。えごでんプロジェクトにも興味をもってもらい、「今後、観光協会とも協力して活動していきましょう」というお言葉をいただきました。人に伝える為に一番大切なこと「印象に残す」ということが大きな気づきとなり、指宿・南薩地区マップを改良し、また発信方法も工夫していかなければいけないと思いました。

第5章 今後の課題

5-1 検証から見た課題とまとめ

課題1 企業協賛，ボランティア募集についての具体的な案内

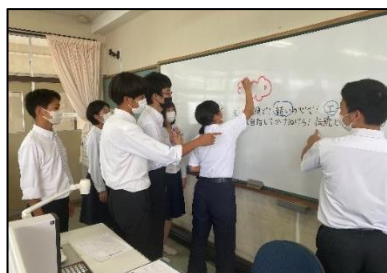
一つ目の課題は，企業協賛，ボランティア募集について詳細の説明，具体的な案内が必要であるということです。企業協賛に関しては，「協賛の方法がよく分からない」「お金で協賛したい」「具体的に必要な物品の案内をしてほしい」などがありました。ボランティア募集では，募集案内の時点で，「どのようなボランティアなのか」「期日や場所を明確にしてほしい」などがありました。今後はこの課題をもとに市役所や観光協会の方々と連携して工夫していきます。

課題2 各競技団体との連携

企業協賛をお願いしていく中で，各競技団体の協会も独自で活動しており，協賛のお願いが重複した企業もあり困惑している様子が見られました。今後は，各競技団体との重複がないように，連絡を密にとることと，企業協賛のお願いに行く際に，他に協賛をしていないか確認してから活動していくなどの工夫をしていきます。

課題3 発信方法の工夫

今年度，指宿を知ってもらう為に「観光マップの制作」「Instagramでの情報発信」を行ってきました。Instagramについては，現在のフォロワー数は少ないものの，実際に自分たちで取材して感じたものを広めようと，少しずつ形になっていったときには喜びを感じることができました。今後の課題としては情報発信する方法について以下の工夫が必要だと感じました。一つ目は適切な発信方法の選択です。Instagramでの発信ではなく，Facebook，ホームページ等，年代やアプリの使用頻度等を調べるのが大切だと感じました。二つ目はターゲットの選定です。若年層から高齢者まで多くの方が国体を楽しみに鹿児島に足を運んでくれると思うので，幅広い年齢層に対し，わかりやすく，見やすくなるような工夫をしていきたいと思えます。



私たちは、この一年「かごしま国体」に協力したいというその一心で、「もゆいえごでん感動プロジェクト」を立ち上げ、指宿・南薩地区を知ってもらう為、そして、かごしま国体を知ってもらう為に、様々な活動を実践してきました。その実践の中で多くの「学び」と「気づき」を得ることができました。この「えごでんプロジェクト」のテーマは、「知ること・知らせること・伝えること・伝わること」でしたが、相手に知らせること、伝えることの難しさと大変さを身をもって体験しました。相手に知らせ、伝えるために大切なことは一方通行では伝わらないということです。相手に知らせ、伝えるためには、発信する立場からではなく、受信者である「知る人」「伝わる人」の立場になって発信していかなければいけないと気づきました。相手の立場になるということは、「思いやりの心」「おもてなしの心」が大切です。そして、相手に喜んでもらい、「笑顔で楽しく」なってもらうためには、発信者である私たちも「笑顔で楽しく」活動することが大切であると気づきました。「思いやりの心」「おもてなしの心」を大切に「笑顔で楽しく」活動することができれば自然と人の「心の和」はつながっていくと思います。かごしま国体を成功させるために、最後の最後までこの気持ちを忘れず笑顔で取り組んでいきたいと思っています。

指宿市立指宿商業高等学校

〒891-0315

鹿児島県指宿市岩本2747番地

TEL (0993)25-2204

FAX (0993)25-4527



3 進路状況

令和5年度 進路状況について

指宿商業高等学校進路指導部

朝 倉 真 吾

1 はじめに

令和5年度の経済動向について内閣府は、「我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつある。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えている。」との見解を示した。個人消費や設備投資は、依然として力強さを欠くなどいくつかの課題を抱えてはいるものの、我が国経済については順調な回復、成長傾向が見込まれている。

そうした中、就職を希望する高校生1人当たりの求人数を示す求人倍率は3.52倍と統計を取り始めてから最も高くなっており、厚生労働省は人手不足などを背景に企業の求人数が増えたことなどを要因にあげた。都道府県別でみると、最も高かったのが、東京の10.99倍で、次いで大阪の6.94倍、広島4.31倍、これに対して最も低いのは、沖縄の1.56倍、次いで鹿児島1.94倍、長崎の2.06倍などの結果となった。

高校生に対する求人倍率の上昇の背景には、高卒者に占める就職組の割合の低下があり。この傾向は進学者の増加と少子化が相まって近年加速化している。現在、高校卒業後の進学率が8割に達しているが、高卒で就職するか進学するかなど、自己の適正や社会情勢などを踏まえてそれぞれのキャリア・プランニングを支援できる指導体制作りが急務である。

2 全体状況

今年度の卒業予定者の進路状況は下表のとおりである（資料1）。人手不足から企業の採用意欲は高く求人数は県内、県外ともに増加傾向にある（資料2）。本校の進路状況は5年連続で進学者数が就職者数を上回っているが、雇用情勢は生徒に好条件である売り手市場であることが影響しているためか、就職者数が2年連続して微増している（資料3）。

令和6年3月卒業予定者 進路状況（1月末現在）

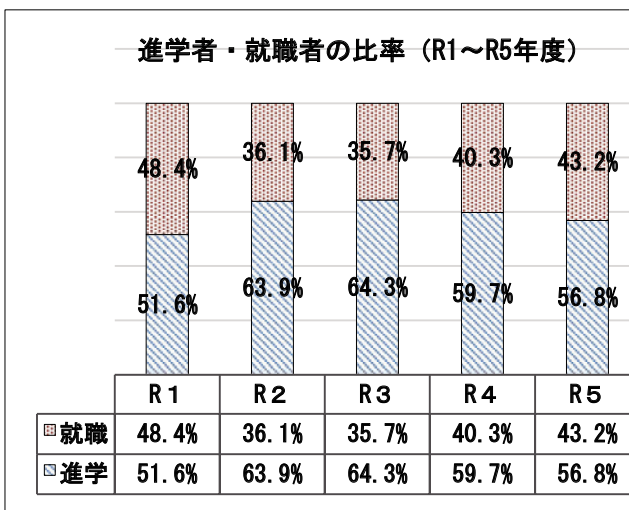
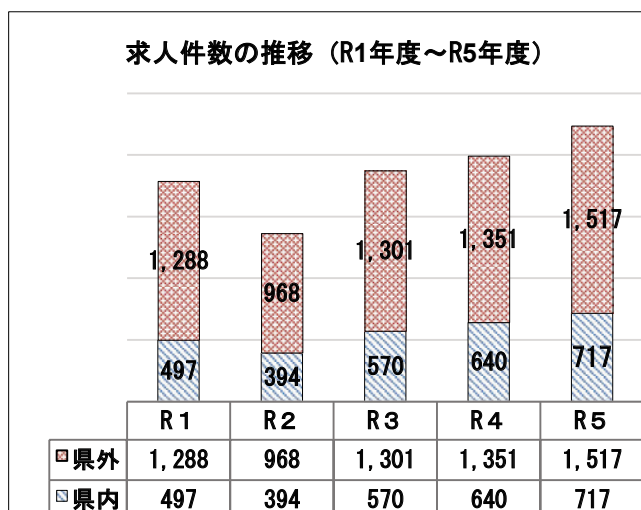
（資料1）

		就 職				進 学				合計
		学校紹介	公務員	自己・縁故	計	大学	短大	専修・各種	計	
希 望	全体	56	6	4	66	24	20	40	84	150
	男	28	3	0	31	14	1	16	31	62
	女	28	3	4	35	10	19	24	53	88
内 定 格	全体	53	6	1	60	24	18	38	80	140
	男	27	3	0	30	14	0	15	29	59
	女	26	3	1	30	10	18	23	51	81
結果待・未受験等	全体	3	0	3	6	0	2	2	5	10
	男	1	0	0	1	0	1	1	2	3
	女	2	0	3	5	0	1	1	2	7

		学校	公務員	自己・縁故	計	大学	短大	専修・各種	計	合計
県外への就職・進学	全体	7	1	0	8	5	0	2	7	15
	男	3	0	0	3	3	0	1	4	7
	女	4	1	0	5	2	0	1	3	8

(資料2)

(資料3)



3 就職について

【一般就職】 本校への求人件数は令和2年度以降、増加し続けており、1月末現在、学校ルートで求職する生徒56名のうち53名が内定を受けている。県内をはじめ全国的に求人が増えており、企業の採用意欲は高く希望に合う求人を見つけやすい状況にある。

就職内定者のうち9割近くが県内企業に内定を受け、1社目受験での内定率は98%であった。不採用となった本校受験者は、学力も高く、欠席数も少ない生徒であったが、2次試験で不合格となっている。今回不採用であった受験先企業は、受験倍率も高く、他の受験者の学力も高水準であったが、内定を得るためには、面接等も含めアピールできるポイントが必要とされる。生徒数の減少や進学志向の高まりから求人を充足しない状況が続いていることから、1次募集後も継続して募集している企業も多く、こうした高倍率企業を受験する際には、1度目で内定が得られなくても、気持ちを切らさず、次の受験先を探していくことが大切である。

内定者を職種別にみると、以前は全体の7割を占めていた事務・販売・サービスが5割程度となり、製造加工や建設・運搬の求人増の影響を受けてか、幅広い職種への就職も増加している(資料4)。

内定事業所職種別分類一覧(学校紹介のみ)

(資料4)

職業分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	男	女	男	女	男	女
専門的・技術的職業従事者			1	1		
事務従事者	2	6	2	11	2	7
販売従事者	3	5	2	1	3	4
サービス職業従事者	6	14	6	7	4	9
保安職業従事者						1
農林従事者			1		3	1
製造加工従事者	8	1	5	1	7	2
機械組立従事者	1				1	
整備修理従事者	1					
検査従事者	1				1	1
輸送・機械運転従事者				1		
建設・採掘従事者	2		3		2	
運搬・清掃等従事者	1		2		4	1
合計	24	27	22	22	27	26

※令和5年度は1月末現在の学校紹介における分類

【公務員】 合格者は6名（合格先：指宿市役所2名，鹿児島県警察1名，自衛官3名）。合格者の半数は，夏季休業中，鹿児島市の専門学校の夏季セミナーを利用。

4 進学について

今年度の学校別専門区分の内訳は下表のとおり（資料5・6）。

【大 学】 商業高校で学んだ簿記・会計についてより専門的に学ぶため社会科学系，特に，経済学部や経営学部に進学する傾向はこれまでと変わらず。本年度は国公立大学に3名が合格（鹿児島大学・大分大学・北九州市立大学）。

【短期大学】 全員が県内進学。幼児教育学科や食物栄養学科への進学が多い。本年度は鹿児島県立短期大学に3名が合格（商経学科2名・文学科1名）。

【専修・各種学校】 進学先の専門分野は多岐にわたっている。看護分野への進学者は減少しているが，美容分野への進学者は男女問わず依然として多いことが特徴として挙げられる。専門的な職業に就職するために必要な知識や技術を習得できることから，本校では進学者の約5割が専修学校への進学を選択している。

【総 括】 進学希望者全体の合格率は98%。受験区分は国公立問わず9割以上が総合型・学校推薦型試験を利用して受験。私立学校合格者では高校在学中に取得した資格を利用して，授業料減免など優遇措置を利用している者が多い。また，今年度，倍率が1倍を超える大学，短大，専修学校に多くの生徒が合格を果たしているが，こうした成果は生徒の真摯な取り組みとともに，多くの職員の丁寧な小論文指導や面接指導に負うところが大きい。

(資料5)

(資料6)

校種別進学分野（過年度比較）

(人)

進学分野	R3年度		R4年度		R5年度	
	大学	短大	大学	短大	大学	短大
教育		2	5	5	1	5
社会科学	12	2	14	1	20	2
人文科学	2	2	2		1	1
保健	2				1	
その他（臨床工学）	1					
文学					1	1
家政		3		5		8
教養		3		3		1
合計	17	12	21	14	24	18

校種別進学分野・専修学校（過年度比較）

(人)

進学分野	年度		
	R3年度	R4年度	R5年度
デザイン	4	1	
ビジネス（医療事務）	9	4	3
医療関係（その他）	1	1	
栄養	1		1
衛生関係（その他）	1		
看護	12	8	4
歯科衛生	1	1	2
自動車整備	1	1	1
柔道整復	2	1	1
情報処理	6	4	2
診療放射線	3	1	
製菓・製パン	1	2	1
調理	2	1	1
土木・建築	1	1	1
動物	1	2	1
美容	9	6	7
保育士養成	6		1
文化・教養関係（その他）	4	1	2
法律行政（公務員）	1	2	1
理学・作業療法	6	2	5
和洋裁	1	1	
旅行		1	1
理容			2
経理・簿記		1	
介護福祉			1
音楽・ダンス	1		
電子計算機		1	
外国語		1	
合計	74	44	38

5 おわりに

本校生徒の進路希望は就職から国公立大学まで幅広い。対して生徒の学力，進路意識の格差は大きい。こうした現状を踏まえ，本校進路指導は基礎学力の定着と進路意識の涵養を図りつつ，就職から国公立大学まで幅広い進路希望に対応することのできる進路指導体制の確立が課題となっている。

こうした課題に対して，1・2年次では基礎学力の定着のために朝の10分間を活用し学習教材「マナトレ」による自学自習を行い，学びの基礎診断やSPI対策テスト（3学期）に取り組んでいる。また，進路意識を高めるため1・2年生向け校内進路ガイダンス（3学期）や更に3年次にも進路ガイダンス（年3回）などを実施している。また，生徒の個々の進路希望に応じて，小論文指導，面接指導，共通テスト対策など，全職員の協力の下，充実した進路指導を展開している。少子化が進む中で生徒の実情も変化しており，変化に対応すべく今後も柔軟に指導体制の改善を図ってゆきたい。

4 研究授業

家庭総合学習指導案

日 時：令和6年1月31日（水）2校時
 場 所：被服実習室
 対 象：商業マネジメント科2年4組32人
 授業者：宍野 智美

1 単元名 持続可能な消費生活・環境

2 小単元 (2) 消費行動と意志決定

3 小単元について

近年の消費者問題や消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者として適切な意志決定に基づいて行動できるようにする。

4 小単元の目標

- (1) 消費生活の現状と課題，消費行動における意志決定や責任ある消費行動における意志決定や理解を深めるとともに，生活情報の収集・整理が適切にできる。【知識及び技能】
- (2) 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう，消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解するとともに，契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深める。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意志決定に基づいて行動できるよう考察し，責任ある消費について工夫する。【学びに向かう力，人間性等】

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・消費生活の現状と課題，消費行動における意志決定や責任ある消費の重要性について理解を深めているとともに，生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう，消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解しているとともに，契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深めている。	・自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意志決定に基づいて行動できるよう，責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	・様々な人々と協同し，よりよい社会の構築に向けて，消費行動と意志決定について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，生活文化を継承し，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

6 単元の指導計画及び評価計画

単元の展開	指導項目	時間	評価の観点		
			知	思	主
何をどうやって買う？	私たちの消費生活	1		○	○
	契約の重要性【本時】	1	○	○	○
	消費者信用の仕組み	2	○		○
かしこい消費者になろう	消費者問題の現状と課題	2	○	○	
	消費者問題にあったら	2	○	○	○
	消費者の権利と責任	1	○	○	○

7 生徒の実態

小・中学校の学習で，売買契約の仕組み，消費者被害の背景とその対応について理解し，物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできることや，物資・サービスの選択に必要な

情報を活用して購入について考え、工夫することを学習してきた。そこで、本時の主題である、契約の重要性については、小中学校での学習を踏まえ、一人で有効な契約が可能となる18歳成人を目前に控える高校2年生として、売買契約以外の契約や、責任ある行動の必要性等にも触れ、主体的かつ合理的に社会の一員として行動する自立した消費者となることを目指す。

クラスは、家庭総合の学習に意欲的な生徒が多く、方法を提示すると素直に指示に沿って自分の学習の調整を図る生徒が多い印象である。自分のことや将来について、真剣に考え、今後の生活に活かそうとする意欲が確認できる。注意力が持続しない生徒や、個別の配慮が必要な生徒が数人いるため、適宜机間指導をしたり、今取り組む活動を再確認し、指示を数回繰り返して伝えたりして授業を行っている。

8 本時の実際

(1) 主題 契約の重要性

(2) 本時の目標

契約の注意点や心構えについて理解し、自分の意志で責任ある契約ができる。

18歳成人の自覚を持ち、成人と未成年の契約における違いについて理解する。

(3) 本時の評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・契約の仕組みや未成年と成人の法律上の違いについて理解している。 ・契約の問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約について、考えを深めたり、発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志で契約できる成人としての権利と責任について、自分ごととして捉えようとしている。

(4) 本時の展開

段階	学習活動	時間	形態	指導上の留意点 【評価の観点】	評価の場面・ 評価方法
導入	1 前時の復習 2 本時の学習の流れを確認する	5	全体	・ポイントだけ押さえる。	
	3 身近な契約について考える	5	個人 全体	・解答を挙手させ、答え合わせをする。	
展開	4 ケーススタディをペアで取り組む 5 答え合わせをする 6 契約についてのまとめをする	15	ペア 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視を行いながら、対話が進むようサポートする。 ・発表を数ペアさせ、解説をする。 ・一方的でない場合はどうなるのかも補足する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワーク・発表【思考・判断・表現】 ・プリント【知識・技能】
	7 未成年者の契約について考える	10	ペア	<ul style="list-style-type: none"> ・取り消しができない場合にも思考がめぐるように発問する。 	
	8 未成年者取消権を確認する		全体	<ul style="list-style-type: none"> ・未成年者取消権が使用できない場合について念を押す。 	
	9 自分が成人する日が近いことに気づく		個人 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・成人になると、一人で契約できるが、その反面、未成年者取消権も消失することを伝える。 	
	10 普段の生活を振り返る	5	個人	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のスマホ画面での契約書を参照させ、気づきを促す。 	

まとめ	11 まとめ・振り返り	7			
	まとめ もうすぐ単独契約が可能となる成人となるため、自分の意志で慎重に契約ができるようになることが大切。				・自己評価と感想・発見・疑問などを記入する。 ・振り返りシートを記入する。
		3	個人	個人	

(5) 本時の評価の判断基準

【観点別の評価表】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A (充分満足できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の仕組みや未成年と成人の法律上の違いについて理解できた。 ・契約の問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約について、十分に考えを深めたり、発表したりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志で契約できる成人としての権利と責任について、自分ごととして真剣に捉えようとしている。
B (概ね満足できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の仕組みや未成年と成人の法律上の違いについて、十分ではないが理解できた。 ・契約の問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断が十分ではないができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約について、十分ではないが考えを深めたり、発表したりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志で契約できる成人としての権利と責任について、自分ごととして十分ではないが捉えようとしている。
C (努力を要する)	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の仕組みや未成年と成人の法律上の違いについて理解できなかった。 ・契約の問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断が適切にできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約について、考えを十分に深めたり、発表したりすることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志で契約できる成人としての権利と責任について、自分ごととして捉えようとしていなかった。

参考・使用資料

- ・高校生向け法教育教材 未来を切り開く法教育～自由で公正な社会のために～ 私法と契約
 ／法務省 法教育推進協議会

学習目標

契約について理解し、主体的に契約できるようになる。
成人と未成年の契約における違いについて理解する。

<学習の流れ>

- 1. 身近な契約
- 2. 契約とは？
- 3. 未成年者の契約
- 4. 普段の生活を振り返る
- 5. まとめ・振り返り

<学習教材>

教科書：P. 233～234

1. 身近な契約 次の中で「契約」はどれ？契約に ✓ を付けよう

- ()①電車・バスに乗る ()②ゲームソフトをダウンロードする ()③映画を見る
- ()④ネットで服を買う ()⑤コンビニでおやつを買う ()⑥部屋を借りる
- ()⑦DVDを借りる ()⑧スマホで電話をする ()⑨図書館で本を借りる
- ()⑩服をクリーニングに出す ()⑪スマホで動画を視聴する

2. 契約とは

僕と一緒に、鬼退治してくれる仲間を募集します！
村から鬼ヶ島までは船で移動します
船の中では毎日洗濯の仕事をします
報酬は1日にきびだんご10個
(4,000円相当)です
行き帰りの移動期間も含め、毎日お支払いします



桃太郎 25歳



さる 18歳

鬼退治なんて、やりがいのある仕事だし、やります！

口約束で成立する契約書はトラブル防止

Q. 1 契約が成立するタイミングは？

答え ()

- ①桃太郎が「仲間を募集します！」と言った
- ②桃太郎が報酬を伝えた
- ③さるが「やります！」と言った
- ④雇用契約書にサインをした
- ⑤船が出発した
- ⑥きびだんご10個の報酬をもらった

Q. 2 船の移動中、洗濯をしているさるに、桃太郎は「今日は洗濯物が少ないので、報酬のきびだんごは8個だよ。」と言っている。

今日のさるの報酬はきびだんご何個？

答え ()

契約は守ってもらう権利がある
一方的に変更できない

Q. 3 船の中で、さるはキジと出会った。会話の中で、キジが1日15個のきびだんごで雇用契約を結んでいることを知った。

さるは桃太郎に、「私もキジと同じ15個のきびだんごをちょうだいよ。くれないのなら、この契約は解消する。」と申し出た。

桃太郎は「さるは、これまで同様、10個のきびだんごだよ。」と答えた

契約は守る義務がある
一方的に解消できない

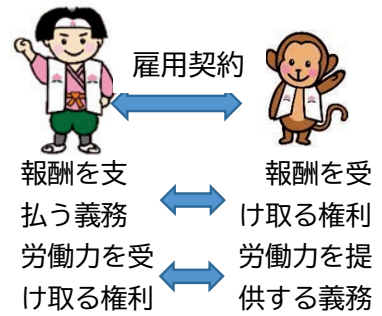
さるは、このことを理由に、契約を解消することができる？

答え ()

月 日 年 組 番 ()

契約についてのまとめ

- ・契約が成立するのは、(口約束)で成立する。
- ・契約が成立すると、(権利)と(義務)が生じ、一方的に契約を(変更)したり、(解消)したりすることができなくなる。
- ・契約をするときは、(慎重)に行う。



3. 未成年者の契約

Q. さるは18歳でしたが、もし、17歳だったときはどうなるでしょう？話し合おう！

[Empty box for discussion]

< 語句 >

- ・ **未成年者取消権** …… 未成年が親の同意を得ないで、単独で交わした契約は、取り消すことができる権利。ただし、「親の同意がある」や「自分が成年である」と偽った時や、小遣いの範囲内での契約は取り消しが認められない。

※あなたが成人する日は、令和 年 月 日 (約 ヶ月後)

成人になると、一人で契約できるようになるが、その反面、未成年者取消権も消失する。

4. 普段の生活を振り返る

あなたが日常生活でしている契約について、振り返ろう (1. 身近な契約・P.233 コラム) 後で後悔しないような契約をするためには、自分には、どんなことが必要だろう？

.....

5. まとめ・振り返り

- ・契約について理解し、主体的に契約できる自信はあるか。
- ・成人と未成年の契約における違いについて理解できた。



感想・発見・疑問 など

.....

「ビジネス基礎」学習指導案

日 時 令和5年1月26日(木) 2限目
場 所 1年5組教室(生徒棟4階)
対 象 商業マネジメント科1年5組
(男子 13名 女子 21名 計34名)
授 業 者 春 松 健一郎

- 1 単元名 第8章 身近な地域のビジネス
- 2 教科書 ビジネス基礎(実教出版株式会社)
- 3 単位数 3単位
- 4 指導目標

- ・地域の魅力を発掘し、活性化するビジネスについて考え、さまざまな視点から地域の魅力を見いだす。
- ・地域の魅力を自ら考え、地域案内マップを作成する。
- ・自分で調査した内容やインターネット等で得た情報を整理して、表現する力を養う。
- ・発表を聞く側の態度を身に付ける。

5 教材観

観光資源が豊富な地域のビジネスに注目して、2年次に履修する『ビジネスコミュニケーション』や3年次に履修する『観光ビジネス』に向けて地域の魅力について調査、研究し、魅力を発信する力を養うために生徒一人ひとりが生まれ育った地域に注目し、観光スポットやお勧めのお店について調べ、観光マップを作成する。作成したマップで周りにプレゼンを行い、表現力や発表を聞く態度を養うことを目的とする。

6 生徒観

全体的に大人しい生徒が多いクラスである。資格取得への意欲は高いものの、課題の提出状況や取り組みについては個々に差がある。商業マネジメント科で地域の観光について学ぶために校外学習や指宿検定を受験した際、もっと学びを深めたいと思う生徒は全体の70%程度に留まった。そこで、今回は指宿市に限定せず、自分の生まれ育ってきた地域の観光スポットに着目し、観光マップを作成することにした。それぞれが自分の時間を見つけて、観光マップを作成しようと努力する姿が見られ、学びに向かう姿勢も主体性が見えてきている。

7 指導観

観光マップを作成する上で、自分たちが集めた情報やインターネット等で得た情報をいかにまとめて自分自身が伝えたい内容をまとめることができるか。そして、まとめた内容を周りに伝えるコミュニケーション能力を実感する機会にしたい。生徒の中には人前で話すことが苦手であったり、対人関係をうまく構築できない生徒もいるので、発表に関してはまずはグループ内で発表をさせ、全員が発表の機会を得られる工夫をしたい。また、発表内容の評価だけでなく、発表者が聞く側の評価を行うことで、聞く態度も発表者を思いやる心を養いたいと考えている。

8 単元（題材）評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
地元の観光スポットについて、自ら調べた内容を分かりやすく整理し、説明できるように資料を作成することができたか。	地元の観光スポットについて、観光マップを作成した上で、プレゼンテーションを通して相手に、伝えたい内容をわかりやすく伝えることができたか。	観光マップ作製に主体的に取り組む、完成させることができたか。また、発表を聞くときに誠意をもって発表者の意見を行くことができたか。

9 指導計画

- 1 地域ビジネスの動向 (1)
- 2 地域の魅力を発掘するビジネス (1)
- 3 身近な地域の見どころ再発見 実習 (2)
- 4 地域マップの作成 実習 (2) → 本時 (2/2)

10 本時の目標

- (1) 自分の調べた内容で観光マップを作成する。(知識・技術)
- (2) 観光マップを元にプレゼンテーションし、自分の想いを表現する。(思考・判断・表現)
- (3) 相手に伝わるように精一杯プレゼンテーションできたか。また、発表者の発表をしっかりと聞くことができたか。(主体的に取り組む態度)

11 本時の展開

	時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価等
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の振り返りをして今後の校外活動に活かすための機会であることを確認させる。 ・プレゼンテーションについて説明を聞く。 	鹿児島国体や指商デパートで様々な人に地域の魅力を発信するために必要な能力を身に付けるためのものであることを確認する。 聞く側の態度についてポイントを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容について理解しようとしているか。(態度) ・プレゼンテーションについて理解しようとしているか。(態度)
展開	35分	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの班の代表者が一人ずつ発表を行う。(1人約3分) ・発表者と聞く側お互いに評価する。(1人約2分) 	発表者の観光マップをパソコンのスクリーンで移して全員が見やすいように工夫する。 ・評価シートを元に評価を行う。気付いた点をメモする。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光マップを元にプレゼンテーションができたか。(思考・判断・表現) ・発表者のプレゼンを聞いているか。(態度) ・評価をするだけでなく、気付いた点をメモできたか。(態度)
結末	5分	振り返りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価シートを記入する。 	プレゼンテーションを効果的に行えるソフト（パワーポイント等）について説明する。 ・自己評価を行って気付いた点を書くことを確認する。	本時の振り返りができているか(態度) ・観光マップを完成できたか。(知識・技術)

12 本時の評価

- (1) 観光マップを完成させることができたか。(知識・技術)
- (2) 観光マップを元に自分の想いを表現することができたか。(思考・判断・表現)
- (3) 精一杯発表できたか。また、意欲的に聞くことができたか。(主体的に取り組む態度)

プレゼンテーション評価シート

評価者 1年5組 番

発表者 1年5組 番

観点	項目	評価	メモ・気付いた点
(1) 内容	①観光スポットやお店の説明の内容	1 2 3 4 5	
	②話の構成は適切だったか	1 2 3 4 5	
	③内容は分かりやすかったか。	1 2 3 4 5	
	④行ってみたいと思ったか。	1 2 3 4 5	
(2) 資料	①観光マップは見やすく作成されているか。	1 2 3 4 5	
	②作成したマップで工夫された所があったか。	1 2 3 4 5	
	③大事なポイントが分かりやすく表示されているか。	1 2 3 4 5	
(3) 話し方	①声の大きさは適当だったか。	1 2 3 4 5	
	②話すスピードは適切だったか。	1 2 3 4 5	
	③声の強弱などメリハリがあったか。	1 2 3 4 5	
	④思いが伝わる話し方だったか。	1 2 3 4 5	

聞き方の評価

観点	項目	評価
あ	相手を見て話を聞いているか。	1 2 3 4 5
い	一生懸命、聞いているか。(コメントを書けるか)	1 2 3 4 5
う	頷きながら聞いているか。	1 2 3 4 5
え	笑顔で聞いているか。(話し手が話しやすい表情)	1 2 3 4 5
お	終わりまで集中して聞いているか。	1 2 3 4 5

◎ ルーブリック評価表

問 あなたの過ごす地域の魅力ある場所について、様々な手法で調べ、まとめなさい。また、まとめた内容について発表をなさい。

評価観点	A (十分に満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
知識・技術	自分の過ごす地域のお勧めスポットについて調べ、わかりやすくレポートにまとめている。	自分の過ごす地域のお勧めスポットについて調べ、レポートにまとめている。	自分の過ごす地域のお勧めスポットについて調べたり、レポートにまとめられていない。 【手立て】つまづいている生徒には、机間指導等でインターネットを利用し検索する際のヒントを与え、考察すべき事項に気付かせる。
思考・判断・表現	自分の考えたお勧めスポットについて具体的な内容で表現され論理的な理由とともに記述されており、発表に向けてわかりやすくまとめられている。	自分の考えたお勧めスポットについて表現され、記述されており、発表に向けてまとめられている。	自分の考えたお勧めスポットについて表現できていない。発表に向けてレポートをまとめられない。 【手立て】つまづいている生徒には、会話をしながら、なぜお勧めなのかを考えさせる。
主体的に学習に取り組む態度	自分のまとめたレポートに対し、グループ内の発表や全体への発表に向けて、意欲的に発言や行動をし、主体的かつ協同的な活動ができている。また、周りの発表を聞き、具体的なアドバイスや感想を書いている。	自分のまとめたレポートに対し、グループ内の発表や全体への発表に向けて、準備ができている。また、周りの発表を聞き、感想を書いている。	レポートが完成できていない。また、まとめたレポートに対して発表ができない。周りの発表を聞くことができず、感想も書けない。 【手立て】付箋で自分の伝えたい事を貼らせ、表現させる。

商業科（マーケティング）学習指導案

日 時：令和5年10月26日（木）第2校時

場 所：指宿商業高等学校 1年3組教室

対 象：商業マネジメント科1年3組（37名）

授業者：圖師 さつき

教科書：東法出版 マーケティング（商業719）

副教材：東法出版 マーケティングワークブック

1 単元名

第4章 製品政策

2 生徒の実態

本学級は、落ち着いて授業に取り組み、マーケティングの学習に対して興味や意欲を示し、学習課題に素直に向き合う様子が見られる。しかし、自分の考えをまとめたり伝えたりすることが苦手な生徒が多く、教員の発問に対する反応やグループやペアでの学習において積極性に欠ける面も見られる。じっくり考察し、自分の言葉で表現する対話的な学習活動を取り入れる必要がある。

3 単元目標

- (1) 製品政策について企業における事例と関連付けて理解する。
- (2) 製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、製品政策を立案して実施し、評価・改善する。
- (3) 製品政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、製品政策に主体的かつ協働的に取り組む。

4 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
製品政策について企業における事例と関連付けて理解している。	製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、製品政策を立案して実施し、評価・改善している。	製品政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、製品政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

5 単元の指導計画

時	学習内容・ねらい	重点	記録	評価規準・評価方法
第一次 3時間	<p>1. 製品政策の概要</p> <p>製品政策の概要と目的など製品政策に関する知識を身につける。</p> <p>・製品政策の目的と重要性について扱い、具体的な事例を用いて考察する学習活動を取り入れる。</p>	知 思 主		<p>・製品政策の概要について理解している。<u>ワークブック</u></p> <p>・製品政策の概要について考え、自分の言葉で表現しようとしている。</p> <p>・多岐にわたる製品制作の概要について自ら学び、マーケティングにおける製品政策の必要性や重要性を理解したうえで、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>
第二次 6時間 本日2/6	<p>2. 製品企画と生産計画</p> <p>顧客のニーズを解決する手段としての製品企画に関する知識を身につける。</p> <p>・顧客のニーズを製品にする過程について扱い、生産計画の立案、流通業を想定した仕入計画の手順に関する知識を理解する。</p> <p>3. 販売計画と販売予測</p> <p>・販売計画と販売予測、在庫管理について意義や手順、方法を学ぶ。</p>	知 思 主	○ ○	<p>・製品企画と企画書の作成に関する知識を身につけ、作成する技術を習得している。<u>ワークブック</u></p> <p>・製品企画や仕入計画、在庫管理といった製品政策におけるさまざまな過程について、それぞれどのような意味や重要性を持つのかを自分の言葉で表現しようとしている。<u>ワークシート</u></p> <p>・製品政策におけるさまざまな過程がマーケティング戦略に与える影響について、主体的かつ協働的に学習しようとしている。<u>観察</u></p>
第三次 2時間	<p>4. 製品政策の動向</p> <p>製品政策の動向について実務に即して理解するとともに課題への対応策を考察する。</p> <p>・ニーズの多様化や顧客との関係の変化について扱い、顧客との共創や同業または異業種の企業と協働で行う製品施策について具体的な事例を分析し考察する。</p>	知 思 主	○ ○	<p>・サービスの特性を踏まえた製品政策の動向について理解している。<u>ワークブック</u></p> <p>・自分が興味をもつ製品政策について事例を取り上げ、その概要を自分の言葉で表現しようとしている。<u>ワークシート</u></p> <p>・自分が興味をもつ製品政策について事例を取り上げ、その製品政策のメリットやデメリットについて自分なりに考えたり、周りの人と意見を交わしたりするなど主体的かつ協働的に学習しようとしている。<u>観察</u>、<u>ワークシート</u></p>

6 本時の目標

- (1) 製品企画の流れについて実務に即して理解するとともに、関連する知識を身につける。
- (2) 製品企画に関する課題を発見し、それを踏まえてそれぞれのプロセスについて考察し、企画書において表現する。
- (3) 製品企画の流れについて自ら学び、具体的な製品企画について主体的かつ協働的に取り組む。

7 本時における観点別学習状況の評価

評価状況	B	A	C
知識・技術	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
知識・技術	製品企画の流れについて概ね理解するとともに、関連する知識を身につけている。	製品企画の流れについて企業における事例と関連づけて十分に理解するとともに、関連する知識を身につけている。	製品企画の流れについて理解が十分でなく、関連する知識が身につけていない。 【手立て】製品企画の流れについて、再度確認させる。
思考・判断・表現	製品企画に関する課題を発見し、それを踏まえて製品企画を立案し、評価・改善している。	製品企画に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて製品企画を立案し、評価・改善している。	製品企画に関する課題の考察が不十分である。 【手立て】製品企画の流れに着目させたいうえで、机間指導等でヒントを与え、考察すべき事項に気づかせる。
主体的に学習に取り組む態度	製品企画の流れについて自ら学び、テーマを踏まえて製品企画に主体的に取り組んでいる。	周囲に積極的に働きかけながら、製品企画の流れについて自ら学び、テーマを踏まえて製品企画に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	取り組み内容に対する理解が不十分で、粘り強く取り組む態度が不十分である。 【手立て】改善に向けた声掛けや助言を行う。

8 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点等	評価の観点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を振り返る。 本時の学習内容について説明を聞き、本時の学習内容への理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に臨む態度ができているか確認する。 前時までに学習した製品企画の流れについて確認する。 テーマを踏まえて課題に取り組むなかで製品企画に関する知識と理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習内容の理解ができているか。 【知】 学習内容に関心を持ち主体的・意欲的に取り組もうとしているか。 【態】
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> テーマ 指宿の地域活性化 </div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 課題 グループごとに新商品のアイデアを出し合い、発表する。 </div>		
展開① 15分	グループワーク① 環境分析 <ul style="list-style-type: none"> 指宿の現状を分析し、課題を発見する。 開発方針とテーマの設定 <ul style="list-style-type: none"> 環境分析の結果をもとに製品開発方針とテーマを決定。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの対話的な活動を通して、指宿検定に向けた学習活動で習得した知識を活用させ、指宿の現状について考えさせる。 課題を解決するための手段として製品を開発することを意識させ、テーマを設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 指宿の現状と課題について考察し、自分の言葉で説明することができるか。【思】 ◎課題解決の手段として製品開発に向けた企画立案ができているか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワークシート</div> 【思】
展開② 25分	グループワーク② アイデアの創出 <ul style="list-style-type: none"> ブレインストーミングを用いて新製品のアイデアを出し合う。 製品コンセプトの決定 <ul style="list-style-type: none"> グループの意見を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ内の話し合いは議事録にまとめながら行うように指示をする。 グループで意見をまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新製品のアイデアについて考察し、自分の考えを具体的に説明することができるか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ワークシート・議事録</div>【思】 ・周囲と協力し、主体的・意欲的に取り組もうとしているか。【態】
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返る。 次時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学習した内容について、振り返りの記入を通して確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の内容を理解できたか。【知】

※ 評価の観点欄の【知】…知識・技術，【思】…思考・判断・表現，【態】…主体的に学習に取り組む態度，それぞれの観点を示す。

※ 評価の観点欄の◎印は，記録に残す評価を示す。

ワークシート

1年3組 番

第4章 製品政策 第2節 製品企画

01 環境分析

強み…
弱み…
機会…
脅威…

02 開発方針とテーマの決定

大テーマ:指宿の地域活性化
開発方針
テーマ

03 市場調査

第3章で学習済み 今回は省きます…

04 アイデアの創出

メモ(話し合い内容は議事録に!)

05 製品コンセプトの決定

アイデアをまとめて発表しよう!

06 コンセプト・テスト

〈振り返り〉	○・△・×
1. 製品企画の流れについて理解することが出来た。(知)	
2. テーマに沿って自ら進んで考え, 自分の言葉で伝えることが出来た。(思)	
3. グループ活動において互いに協力して, 積極的に取り組むことが出来た。(態)	
〈本時を通して気づいたこと・今後に活かしたいこと〉	

特別活動（LHR）学習指導案

日 時：令和5年1月24日（火）第1校時
 場 所：指宿商業高等学校 1年4組教室
 対 象：指宿商業高等学校 商業マネジメント科
 1年4組（34名）
 授 業 者：圖師 さつき
 指導教諭：塩屋 好之

1 題材名

ジェンダーと人権教育

2 題材設定の理由

近年、ジェンダー平等に向けた取り組みや性の多様性についての社会的関心が高まっているが、SDGsに掲げられている目標5「ジェンダー平等を実現しよう」における日本の現状として、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数2022では、146か国中116位であり、先進国の中でも最低レベルの結果である。本題材をジェンダー平等や多様性について考えるきっかけとし、自他を認め尊重する姿勢と、自分事として課題解決に向けて取り組む態度を育てたいと考え、設定した。

3 本時の目標

- (1) SOG IやLGBTQなどのジェンダーに関する言葉を理解している。
- (2) ジェンダー平等に向けて自分ができることを思考・判断し、グループ活動を通して自らの考えを表現し、意見交換する態度を身に付けている。
- (3) 自らを取り巻くジェンダーに関する課題について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

4 本時における観点別学習状況の評価

評価基準	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
知識・技術	SOG IやLGBTQなどのジェンダーに関する言葉を正しく理解している。	Bの状況に加えて、ジェンダーに関する言葉を適切に使用することができる。	ジェンダーに関する言葉について理解していない。 【手立て】ジェンダーに関する言葉について正しく理解し、使用することで、差別を防ぐ取り組みになることを伝え、本時を通して理解するよう促す。
思考・判断・表現	ジェンダーに関する身の回りの課題についてとりあげ、どのような取り組みができるか考え、伝えることができる。	Bの状況に加えて、他者の意見を聞き、考えを受け入れてさらに深い話し合いへ導くことができる。	自分を取り巻くジェンダーに関する課題を発見できず、取り組みを考えることができない。 【手立て】問いかけを通して身近な課題を発見させ、自分にできる取り組みについて考えることを促す。

主体的に取り組む態度	本題材に興味・関心を持ち、自分にできる取り組みについて主体的に考えることができる。	Bの状況に加えて、積極的に周囲のサポートをしながら協働的に取り組むことができる。	取り組みに対する理解ができておらず、取り組む態度が不十分である。 【手立て】学習の内容を再認識させ、取り組みを促すとともに他者の発表から気づかされたことなどをきっかけに考えるよう促す。
------------	---	--	---

5 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点等	評価の観点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目的を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業に臨む態度ができているか確認する。 事前アンケートを踏まえて本時の学習内容と目標を説明する。 	
展開① 10分	ジェンダーについて <ul style="list-style-type: none"> スライドを見て、ジェンダーに関する用語や課題について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーについて正しく理解させ、誤認や差別が生じないように注意して指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェンダーに関する用語について正しく理解しているか。 【知】
展開② 25分	課題について <ul style="list-style-type: none"> ジェンダーに関する身の回りの課題をあげ、それに対する取り組みとしてどのような対応策や解決策が考えられるかグループで話し合う。 各グループの話し合いの内容をまとめて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自分事としてとらえ、自分が今日からでもできる取り組みを意識させる問いかけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な課題をあげ、それに対する取り組みについて考えたことを、相手に伝わるように工夫して表現しているか。【思】 学習内容に関心を持ち、主体的・意欲的に協働して取り組もうとしているか。 【態】
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートの記入を通して、本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学習した内容について確認させる。 	

LHRワークシート

1年4組 番 _____

〈目標〉

☆SOGIってなに？

S e x u a l O r i e n t a t i o n a n d G e n d e r I d e n t i t y

☆ジェンダー平等に取り組もう！～ジェンダー平等を実現するために自分たちにできることを考えよう～

STEP 1 課題を発見しよう！

STEP 2 課題解決のためにどんな取り組みをするか考えよう！

STEP 3 みんなで考えを共有しよう！

〈振り返り〉

A：よくできた
B：できた
C：もう少し

- | | |
|---|-------|
| 1. SOGIやLGBTQなどの言葉を理解することができた。 | () 知 |
| 2. ジェンダー平等に向けて自分にできることを考え、自分の言葉で表すことができた。 | () 思 |
| 3. 自ら進んでグループ活動に取り組み、充実した話し合いができた。 | () 態 |

〈感想〉

5 その他の取り組み

会計マネジメント科1期生の2年次における進路学習の取り組みについて

指宿商業高等学校 岩川奈穂子

1 はじめに

文部科学省が発表した2023年度の学校基本調査(確定値)によると、日本の令和5年度の大学進学率は57.7%で、過去最高となった。これは前年度比1.1ポイント増で、8年連続で過去最高を更新となった。短大や専門学校なども含めた「高等教育機関」への進学率は84.0%。前年度より0.2ポイント増え、こちらも過去最高となった。一方で同年9月に文部科学省が示した資料によると鹿児島県は他県と比べると大学進学率が低く、特に女子は38%で秋田県に次いで低い。

「会計マネジメント科」は上級資格取得や上級学校への進路実現のために昨年度開設された。今まで以上に生徒達が自分の可能性を広げる進路選択ができるよう、学級また会計マネジメント科では今年度、様々な角度から進路学習に取り組んだ。

2 対象学級について

2年2組は男子4名女子12名、計16名の学級である。クラス替えのない学級であることもあり、互いを尊重し、団結してことにあたる。学習に対しても比較的前向きで検定試験に向けてもお互いに励まし合いながら努力する姿を目にする。一方でそれぞれの生徒の学級での「役割」が定着しつつあり、新しいことに挑戦することに不安を感じる傾向がある。また、女子生徒が多いこともあり進路について県内志向が強い。

(全商資格取得状況;2月20日現在)

8種目取得2名、7種目取得2名、6種目取得3名、5種目取得4名

(進路希望状況;2月20日現在)

大学9名(国公立3名、私立6名)、国公立短期大学2名、専門学校1名、公務員2名、民間企業1、未定1

3 今年度の進路学習

月	日	曜日	行事	区別
6	6	火	進学ガイダンス 於:西川商会アリーナ	科
9	27	水	進路学習①②「公務員ってどんな仕事?」(ペアリサーチ) 進路学習③「公務員ってどんな仕事?」(プレゼンテーション)	学級
9	29	金	進路学習④⑤「経済系資格・免許を知ろう」(ペアリサーチ)	学級
10	3	火	進路学習⑥「経済系資格・免許を知ろう」(プレゼンテーション)	学級
10	11	水	進路学習⑦求人票の見方(講義形式) 進路学習⑧「民間企業の人事担当になろう」(プレゼン準備)	学級
10	16	月	進路学習⑨「民間企業の人事担当になろう」(プレゼンテーション)	学級
11	2	木	大学訪問 於:鹿児島県立短期大学、鹿児島大学	科
12	19	月	文化祭での成果物の展示 於:学校図書館	学級
1	16	火	進路学習⑩地元企業見学事前学習(各企業)	学級
1	19	金	進路学習⑪地元企業見学事前学習(プレゼンテーション)	学級
			進路学習⑫上級学校調べ(調べ学習①)	学級
2	27	火	地元企業見学 於:鹿児島銀行指宿支店、今林会計事務所、指宿市役所	科

・今回は学級で実施したことを中心に記載する。

4 授業の実際

進路学習①②③「公務員ってどんな仕事？」

①調べ学習。

選択肢の中から生徒が興味ある職種を選択し、ペアで調べ学習。

ワークシートの観点に沿って調べることに加えて、「知らなかったこと」があれば発表原稿に取り込む助言。

- ・探求ツール:i-pad(2人に1台)。個人のスマートフォン。
- ・選択肢:指宿市役所、県庁、国税庁、教員、警察(含警察事務)、司書、保健師、税務署

②発表準備。

広幅用紙を使用してポスターの作成。

- ・探求ツール:i-pad(2人に1台)。個人のスマートフォン。
- ・消耗品:広幅用紙、油性ペン等。

③ポスターセッション。

司会進行は担任。メモが取れるようにワークシートを配付。

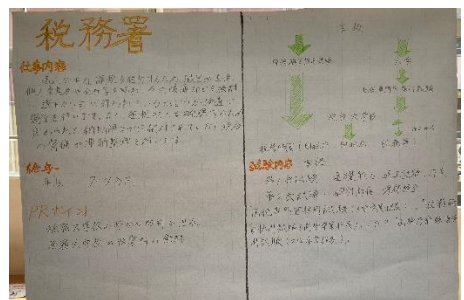
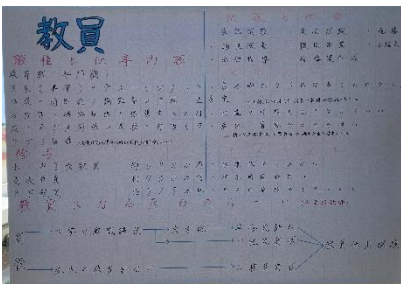
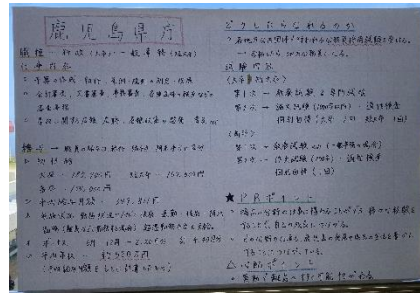
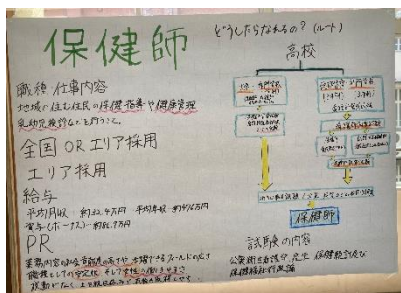
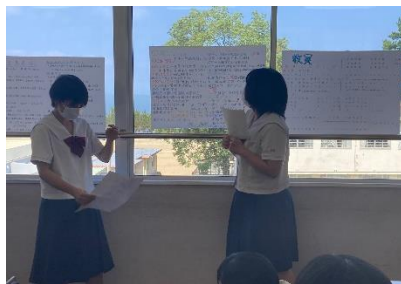
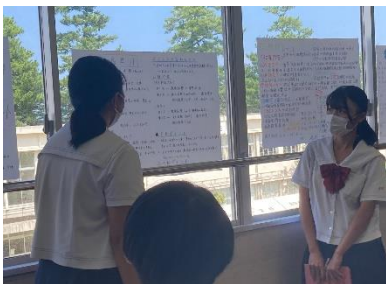
発表前に全てのポスターを窓に掲示し、ポスターの箇所に聴衆も出向いて話を聞くスタイル。

質疑応答を行ったが、なかなか自発的な質問が出ず、次の発表ペアが必ず発表するようにした。

(※事後)

補足が必要だと感じたポイントについては担任が付箋で書き込んだ。

ポスターはしばらく掲示し、休み時間などに改めて見られるようにした。



進路学習④⑤⑥「経済系資格・免許を知ろう」

④調べ学習。

前回同様、選択肢の中から生徒が興味ある職種を選択し、2人～3人の調べ学習。

ワークシートの観点に沿って調べることに加えて、「知らなかったこと」があれば発表原稿に取り込む助言。

一度流れを経験して、生徒達は質疑応答の難しさを実感し、対応できるようメモの取り方など工夫していた。

- ・探求ツール:i-pad(各グループに1台)。個人のスマートフォン。
- ・選択肢:公認会計士、税理士、F.P.、中小企業診断士、証券アナリスト、社会保険労務士

⑤発表準備。

広幅用紙を使用してポスターの作成。

- ・探求ツール:i-pad(1グループに1台)。個人のスマートフォン。
- ・消耗品:広幅用紙、油性ペン等。

⑥ポスターセッション。

司会進行も生徒が行った。メモが取れるようにワークシートを配付。

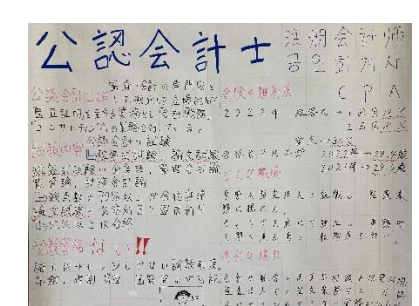
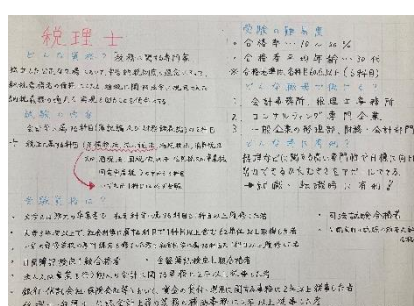
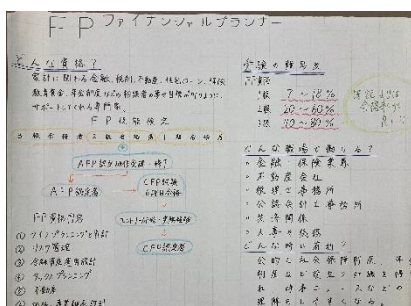
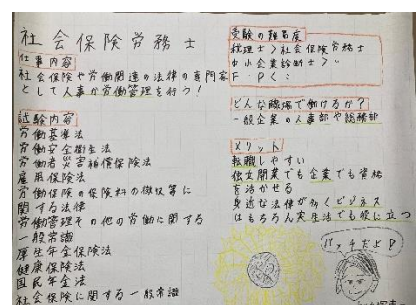
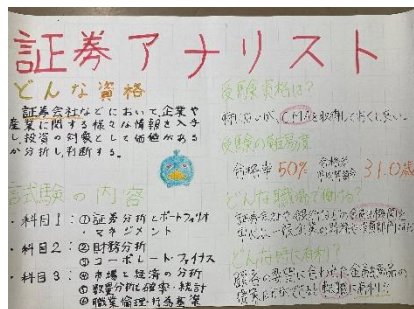
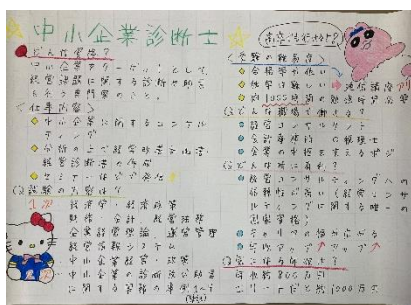
発表前に全てのポスターを窓に掲示し、ポスターの箇所へ聴衆も出向いて話を聞くスタイル。

前回と比較して発表がより具体的になった。質疑応答でも自発的に質問する生徒がいたり、スムーズな応答ができたりするようになった。

(※事後)

補足が必要だと感じたポイントについては担任が付箋で書き込んだ。

ポスターはしばらく掲示し、休み時間などに改めて見られるようにした。



進路学習⑦⑧⑨「民間企業の人事担当になろう」

⑦求人票の見方についての授業。(講師:里村大志先生(地歴公民科))

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークの資料「会社選びのポイント」を軸に求人票の見方を学習。

- ・福利厚生や税金についての解説
- ・給与面(差し引き支給額)などの表の見方の学習
- ・高卒と大卒での給与表の違いについて

⑧調べ学習

生徒に1人1枚求人票を配付。(昨年度の求人票から選択。)

ワークシートの内容に加えて、人事担当者になったつもりで会社のPRポイントを見つけるよう声かけ。

- ・探求ツール:求人票、個人のスマートフォン。
- ・選択肢:生徒の興味・関心の高い金融機関や観光業に加えて、空港のグランドスタッフや動物飼育職など幅広い業界・職種を意識して選定

⑨ポスターセッション

司会進行も生徒が行った。メモが取れるようにワークシートを配付。

発表前に全てのポスターを窓に掲示し、ポスターの箇所に聴衆も出向いて話を聞くスタイル。

「人事担当者」になることを意識した結果、伝える内容や話し方・言葉遣いも変化があった。

進路学習では初めての1人での発表だったが、質疑応答も活発に行われた。

(※事後)

補足が必要だと感じたポイントについては担任が付箋で書き込んだ。

ポスターはしばらく掲示し、休み時間などに改めて見られるようにした。



進路学習⑫上級学校調べ

ワークシート(上級学校比較シート)を1人4枚配付。

興味のある学校・志望校を3校、担任が指定した学校を1校調べている(教育相談での内容に基づく)。

今年度中に回収、冊子化して生徒に配付予定。

4 使用したワークシート

(1) 調査シート

進路学習ワークシート①公務員【

】

職種と仕事内容 どんな仕事をするの？	
全国 or エリア採用	
給与	
どうしたらなるの？ ルートを書こう	
試験の内容は？ 必要な資格	
PR ポイント	
(心配ポイント) あれば	

進路学習ワークシート②資格【

】

どんな資格？	
試験の内容は？	
受験資格は？	
受験の難易度 (合格率や合格者 平均年齢など)	
どんな職場で働ける？	
どんな時に有利？	

進路学習ワークシート③民間【

】

★あなたはこの会社の人事採用担当者です！ 自分の会社が良い社員を採用するため、プレゼンテーションをしよう。

何をやる会社？	
どこにある会社？	
募集する仕事内容は？	
どこで働く？	
雇用形態	
福利厚生・加入保険	雇用 ・ 労災 ・ 健康 ・ 厚生 ・ 財形
【給料】 基本給 ボーナス 残業代 ※差引手取額も！	
【休日】 週休二日制 その他の休日	
試験内容	
会社のPRポイント	

進路研究レポート

()大学・短大・専門学校
()学部 ()学科・専攻
2-2 ()番 氏名()

◎この学部学科(専攻)でどのようなことが学べるか、内容をまとめよう。

◎取得可能資格を調べよう

◎入学金・授業料を調べよう

◎入ってみたいサークル・部活を探そう

◎寮の有無
有・無

◎推薦入試の有無
有(AO・推薦)・無

◎周辺の客室(1R・バスタイレ付)の相場を調べよう

◎AO試験の内容を調べよう

◎推薦試験の内容を調べよう

(2) 発表メモシート

進路学習ワークシート①公務員その②		
職種	初めて知ったこと	疑問に思ったこと
市役所		
県庁		
国庁		
教員		
警察		
司書		
保健師		
税務署		
調べた感想		
<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>		
自分がこの中で仕事に就くなら... () 理由		
<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>		
		2-2-() NAME ()

進路学習②資格:ワークシート②		
職種	初めて知ったこと	疑問に思ったこと
公認会計士		
税理士		
F.P.		
中小企業診断士		
証券アナリスト		
社会保険労務士		
調べた感想		
調査担当()		
自分がこの中で仕事に就くなら... () 理由		
<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>		
全体の感想		
<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>		
		2-2-() NAME ()

進路学習ワークシート①民間その②			
会社名	担当者	初めて知ったこと	疑問に思ったこと
調べた感想			
<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>			
自分がこの中で仕事に就くなら... () 理由			
<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>			
全体の感想			
<div style="border: 1px solid black; height: 30px;"></div>			
			2-2-() NAME ()

5 その他

(1) 文化祭での展示

今年度の文化祭は日程の都合上 2 学年は観客としての参加のみだったので、有志団体として公務員と経済系資格についてのポスターの展示を図書室で行った。他学年、他学級とも情報の共有ができて良かった。



(2) 鹿児島県立短期大学・鹿児島大学への大学訪問

○日程

鹿児島県立短期大学(9:20~10:30)

(商経学科 概要説明・ミニ講座受講・施設見学)

鹿児島大学 郡元キャンパス(11:00~14:30)

(昼食 (学内食堂), 学内散策, 法学部概要説明, 付属図書館見学)

○生徒の感想(抜粋)

・(県短) ミニ講義で「確立で見る野球」を受講しました。まず最初は、期待値をわかりやすく理解できるように、あるくじの賞金と本数で確立とどうやって期待値を求めるのかを教えてくださいました。その次に、野球に関連して戦術を考えてみることにしました。こんな風に数値を求めていって、どうやって勝利につなげるのか、というとても面白い講義でした。

・(県短) 少人数クラスによるきめ細やかな指導によってオーラルコミュニケーションなどの総合的な英語運用能力を徹底的に底上げするのに魅力を感じた。

・(県短) 夜間に勉強ができる学科があることを知り、驚いた。

・(県短) 経済学科、経営学科、第 2 経済学科の違いや特色についても詳しく学ぶことができた。

・(鹿大) 学食が安くて美味しかった。

・(鹿大) 図書館が地下 2 階地上 4 階ととても大きく、多くの大学生が集中して勉強をしている良い環境だと思った。

・(鹿大) 構内がとても広く、自転車で移動している人がいたり、外国人留学生とも普通に通りすがったりしてわくわくした。

- ・(鹿大) 学内に総合研究博物館という建物があった。タイプライターやアンモナイトの化石、土器などを見た。
- ・(鹿大) 農学部があるので、アヒルなどの動物が飼育されていたりして驚いた。
- ・(鹿大) 法文学部の説明では、どのようなことを学ぶかや各コースの違い、入試方法などを深く知れた。取れる資格も豊富だったので、私にとって興味の湧くことばかりだった。
- ・(鹿大) 大学では1年次からレベルの高い難しいものを学ぶと思っていたが、レポートの書き方などの初歩的なことから説明があると知り、手厚いと感じた。
- ・(鹿大) 私の憧れ、理想の大学生活という感じがしてとてもわくわくしました。

6 まとめと来年度の課題

今年度の進路学習を通して生徒が獲得できたのではないかと思う力は以下の点である。

- ①世の中に様々な職業、業界があるということを知ることができた点。
- ②現在学校で学んでいることが今後の未来に繋がると実感できた点。
- ③進路選択について繰り返し考える機会になった点。
- ④プレゼンテーションの力が少しずつではあるが、身に付いた点。

3の後半にも記述したように、現在進行形で上級学校調べを生徒が行っているので、取り組んだ物をしっかりと形にして還元したい。

一方で年間の指導計画として振り返ると学科の行事と学級の取り組みのタイミングがずれてしまったことがあった。今年度から会計マネジメント科が複数学年になったこともあり、学科としての行事を実施できた(2学期に大学訪問、3学期に企業訪問)。それぞれの行事をこの時期に固定するならば、事前に予習をするような日程で計画を立てた方がよいと感じる。

令和5年度PTA担当： 福 永 博 志

進路実現へのエール

～PTAは生徒の応援団 in 指商～

1 学校概要

本校は、昭和23年に今和泉村に鹿児島県今和泉高等学校として創立し、その後、改称・移転等を行い現在に至り、令和5年度で76周年を迎えます。2008年のNHK大河ドラマで放送されました「篤姫」が、幼少の頃に過ごしたといわれる「今和泉」にあり、教室の窓からは雄大な桜島を眺めることもできます。令和3年度入学生までは商業科のみ5クラスでしたが、令和4年度入学生から、商業マネジメント科(3クラス)、会計マネジメント科(1クラス)、情報マネジメント科(1クラス)の3学科5クラスで構成され、鹿児島市内南部からの通学生も50%を超え、県南部地域から広く生徒が集まる指宿市立の高校です。校訓の「和敬」「奉仕」



「根性」のもと、資格取得だけではなく、部活動でも全国優勝の実績がある女子ソフトテニス部をはじめ、運動系、文化系共に全国大会や九州大会に出場する部活動も複数あり、それぞれの目標に向かい頑張っています。地域からは「指商(いぶしょう)」と呼ばれ定着しています。

2 教育活動の取組

「和敬・奉仕・根性」の校訓のもと、「実学・実習によるビジネス教育の取組み日本一」を掲げて日々の教育活動を実践しています。そのうちのいくつかを次に紹介します。

(1) 『株式会社 指商』の設立

全国の高等学校で初となる、株式会社を平成24年度に設立して本年度で12期目に入ります。社訓は、「感謝・信頼・貢献」です。全校生徒が株主及び社員となり、ビジネス教育の実践の場として運営を行っています。オリジナル商品の開発や、各種イベントでの販売業務、納税など、様々な事業を行っています。事業活動を通して得た利益は、株主への配当をはじめ指宿市内の小・中学校へ本を贈呈するなど、地域貢献に使っています。



(2) 指商デパート

鹿児島県初の学校デパートとして、令和5年度で33回を迎えました。商品の仕入から販売・決算までを行う学習の集大成の活動です。学校体育館や中庭、正門周辺を催事場として、学級ごとに店舗を経営し、地元特産品や野菜・果物など様々な商品を販売します。商品のレイアウトやPOPの作成なども自分たちで行う年1回1日限りの本校最大イベントです。



(3) ICP（指宿茶いっぺプロジェクト）活動

3年生の課題研究の授業で、毎週金曜日に指宿駅や観光特急「指宿のたまて箱」号車内で観光客へのおもてなし活動を行っています。ICPは「茶いっぺ」の言葉に表れる鹿児島のおもてなしの心を受け継いだプロジェクトです。積極的に指宿の良さを発信し、観光に来られた方々に心に残る体験をしていただくための活動をしています。また、「指宿のたまて箱」号に手や旗を振る活動も実践しています。



(4) 中国語・韓国語および韓国姉妹校との国際交流

平成24年度から週1時間ですが、選択した中国語・韓国語の学習をしています。過去には、「中国語スピーチコンテスト」と「話してみよう韓国語」の大会で全国大会に出場し、入賞を果たしました。また、韓国の永化観光経営高等学校との交流を行っており、それぞれホームステイを実施し相互の交流を深めています。今年度までは、コロナ禍のためオンライン交流でしたが、令和6年度からはホームステイを再開する予定です。

3 指商のPTA活動紹介

指商PTAは『指翔会（いぶしょうかい）』と呼ばれ、5つの専門部、「総務部」「広報・研修部」「生活指導部」「保体部」「親事部」と11に細分化された地区PTAで組織し、学校と一体となった支援を実施しています。それらの活動を通して、学校・生徒・保護者・地域との絆作りを目指しています。親事部とは、約15年前に発足した高校では珍しい「おやじの会」を「親(おや)事(じ)部(ぶ)」と名称変更して、だれでも参加できるよう平成28年度からPTA組織の中に組み入れたものになります。また、指商PTAのOBによるサポート組織として「そらまめん隊」があります。おやじの会を発足させたメンバーが、子どもが卒業した後も指商との関わりを持ち続けたいという思いで発足させたPTAのOB組織と聞いています。そのようなOB・OGの方々もたくさんいて、

P T A活動に積極的に参加・協力してくださることで、現役会員の士気が高まるとともに的確な活動が行えているように思え、本当に感謝しています。

一般的にP T A活動の任期は4月から翌年の3月までですが、新年度の役員はP T A総会で承認を得ますので、その前の4月に新執行部を内定し、年度最後の第4回理事会を行います。そのため5月中旬に行われるP T A総会は旧執行部で運営します。よって役員任期は5月から翌年5月となります。

教育活動の取組にもありますが、毎年開催されます「指商デパート」では、様々な活動に全校生徒がかかわります。P T Aはその活動を支えるべく、P T A総務部を中心に駐車場係のお手伝いを行っています。学校前の国道から狭い路地を通して本校グラウンドの駐車場への誘導をはじめ、篤姫駐車場などへうまく流れるように誘導を行ったり、駐車場内での整理案内をするなど交代で協力いただきました。またバザー会場では、茶節やつきたての餅などを無料でふる舞い、来場者の方々に喜ばれているのですが、新型コロナの影響を受け、昨年度まではふる舞いの中止をよぎなくされ、茶節セットの配布のみを行いました。今年度は4年ぶりに新たな取り組みとして、「とん汁」のふる舞いを行いました。たくさんのP T A保護者の協力を得て、大成功に終わりました。



そして年末には、親事部に先ほどから出てくる「そらめん隊」の方々の協力を存分に得て、門松づくりを行っています。竹の切り出しから加工、据え付け設置と手際よく、テキパキと周りに指示を出しながら、また、あうんの呼吸で作業が進められていきます。おかげで毎年、立派な門松が、年末年始の本校の正門に鎮座しています。

それ以外にも、広報・研修部では、新聞発行や研修視察旅行を行っています。進路指導部と連携しながら、卒業生が進学した大学・短大・専門学校と就職した企業を選び訪問しています。昼食ではホテルのバイキングに舌鼓を打ちながら会員同士の親睦を深め、参加費ワンコイン、500円で実施させてもらっています。また、九高P連や全国高P連に参加した際に、現地の学校を訪問する保護者もいました。



デパートの手伝いとともに、8月後半には、PTAで「親子で行う奉仕作業」を運営しています。時期的に他の学校と日程が重なる中、生徒・保護者で体育祭に向けた美化作業に汗を流します。

今年度は、これまでのPTA活動が生徒のキャリア形成に貢献していると評価をいただき、令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰をはじめ4つの表彰を受賞させていただきました。

4 令和5年度PTA活動表彰歴

- (1) 令和5年度鹿児島県PTA連合会表彰（4度目）
- (2) 令和5年度九州地区高等学校PTA連合会表彰（3度目）
- (3) 令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰（2度目）
- (4) 令和5年度全国高等学校PTA連合会会長表彰（3度目）

【過去のPTA活動表彰歴】

鹿児島県PTA連合会表彰（平成13年度・平成24年度・平成27年度）

九州地区高等学校PTA連合会表彰（平成13年度・平成25年度）

全国高等学校PTA連合会会長表彰（平成13年度・平成25年度）

優良PTA文部科学大臣表彰（平成26年度）

地域学校協働活動文部科学大臣表彰（令和3年度）

5 今後に向けて

少子高齢化が進み、生徒数が減少している現在において、PTA組織もなすべき役割が大きく様変わりしていくことが予想されます。そのなかでも、特色ある活動を活発に行う学校を全面的にバックアップするため、「一番の理解者」であり「応援団」として保護者が積極的に活動に参加し、その姿を子どもたちに見せながら、子どもが卒業した後もPTA活動に積極的に参加してくださるOB・OGの方々（そらまめん隊）や同窓会とともに、この先も末永く「エール」を送り続けていきたいと思っています。

また、教育のあり方とともにPTA活動のあり方も時代とともに変化していく必要がありますが本校のように、学校とPTAが協働して子どもの成長を応援してくださる本来のPTAの体制は、とても大切であり、継続していく必要があると考えます。

これからも、本校のPTA（指翔会）が発展することを願い寄稿いたします。

※ 第66回九州地区高等学校PTA連合会大会長崎大会発表原稿参照

研究紀要

発行年月 令和6年3月
発行者 清川康雄
発行所 指宿市立指宿商業高等学校
〒891-0315
指宿市岩本2, 747番地
TEL 0993-25-2204
FAX 0993-25-4527
編集者 教務部教務総務 福永・里村
印刷所 (株)指宿新生社印刷



指商デパート・株式会社指商・コンソーシアムIBUSHO